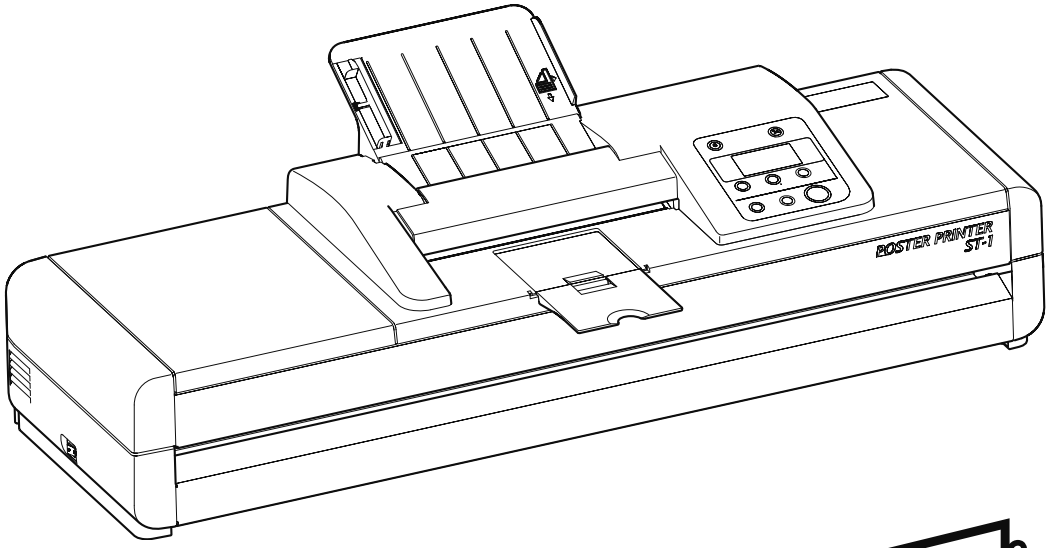
取扱説明書

POSTER PRINTER ST-1



かくだい君 neo

第４版

SP0200

ご注意

■本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
■本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
■本書の内容を運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承ください。
■本書の内容に従わずに取り扱われたり、弊社指定の者以外の第三者により修理・変更されたことによる障害につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
■専用記録紙以外を使用してトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
■本製品は日本国内専用です。海外でのご使用は、サポートならびに保証の対象外となります。

商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright© MBS CO., LTD. 2017 All rights reserved.

はじめに

このたびは、POSTER PRINTER ST-1（以下 ST-1 と表記）をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ST-1 の機能を十分にご理解頂き、より効果的にご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ご活用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はいつでも利用できるよう装置のそばに置き、大切に保管してください。

保証と補修用性能部品について

■ 保証について

本製品に同梱されている「保証書発行請求書（兼設置報告書）」に必要事項をご記入いただき、添付の返信用封筒もしくは、FAX にてご返送ください。
登録手続きが完了次第、正式な「保証書」をお届けします。
故障に際して、「保証書」の提示がございませんと保証期間内でも有償修理となりますので、保証書の記載内容をご確認の上大切に保管してください。
なお、専用記録紙以外の記録紙使用に起因するトラブルについては、保証期間内であっても有償修理となります。

■ 補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保証期間は、製造打切後 7 年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品をいいます。

- この取扱説明書の中で❗⚠と表記されている事項は、安全にご使用頂くために注意して頂くマークです。取扱説明書の指示を必ずお守りください。
- 熱転写紙の使用済みインクフィルムは、産業廃棄物となります。廃棄の際は、お持ちの処理設備で処理されるか、許可を得た「専門の処理業者」に委託して、処理してください。
- 使用済み専用記録紙の紙管（芯）を廃棄する際には、紙管から記録紙認識タグ（IC タグ）を剥がして、各自治体の廃棄ルールに従って廃棄してください。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目　次

1.　お使いになる前に 1
■開梱 1
■付属品の確認 1
■設置 2
■パソコン接続 3
■電源コードの接続 4
■原稿トレイの取り付け 4
■安全上のご注意 5
■正しくお使いいただくためのお願い 8
■本機の特長 10

2.　各部の名称 13
■前　面 13
■背　面 13
■スキャナー部 14
■プリンター部 14
■操作パネル 15

3.　プリントを行なう前に 18
■原稿ガイドの調整 18
■記録紙をセット（915 サイズの場合）..... 19
■「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定 22

4.　基本的な使い方 24
■標準モードプリント 24
■写真モードプリント 27
■反転モードプリント 29
■プリント長表示 30

5.　各種サイズのプリント 31
■部分拡大プリント 31
■拡大シートの作り方 34
■分割プリント 37
■記録紙より小さくプリント 40
■長尺原稿からのプリント 42
■マルチプリント 44
■原稿メモリープリント 47

6.　機能設定モード 51
■機能設定項目の選択方法 51
■拡大サイズの設定 53
■プリント濃度の設定 54
■部分拡大機能の設定 55
■記録紙カットの設定 56
■長さ表示の設定 58
■ネットワークの設定 59
■条件設定モード 63
■テストプリント 65
■オールリセット 66

7.　記録紙について 67
■種類 / サイズ一覧 67
■転写紙のインクフィルムのはがし方 68

8.　読み取り / プリント領域 70
■読み取り可能領域（原稿は A4 サイズ）.. 70
■プリント可能領域 71

9.　こんなときには 72
■こんなメッセージが表示されたら 72
■正常に動作しないときには 75

10.清掃方法 77
■各部の清掃方法 77
■プリンター部 77
■スキャナー部 78

11.使用済み紙管の廃棄方法 79

■ 仕　様 80

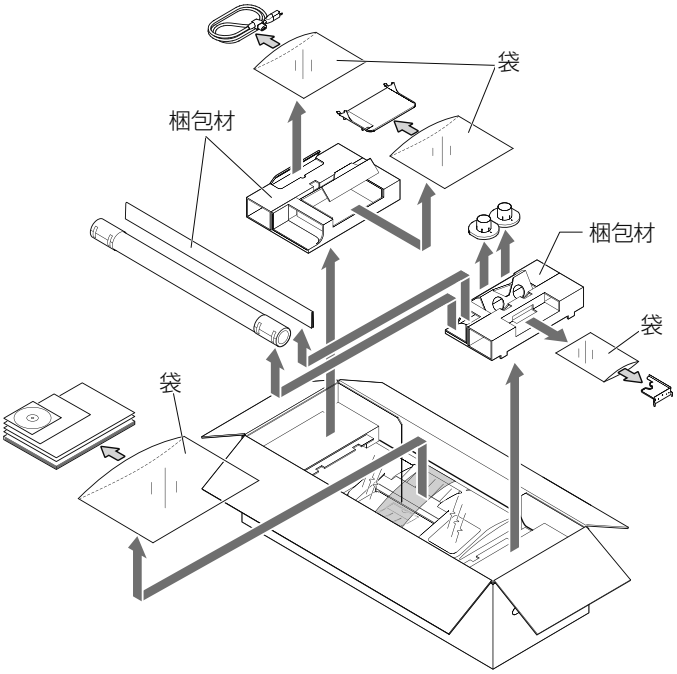
■ 索　引 81

1 お使いになる前に

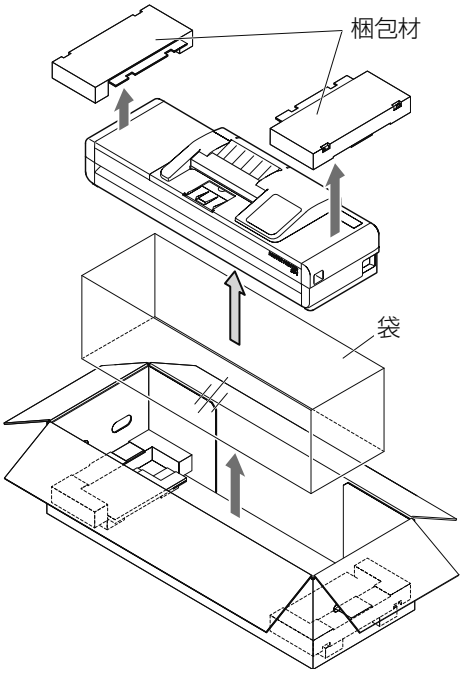
開梱

ST-1 の梱包を解いてください。ST-1 本体および付属品は下図のように納められています。

1 付属品を取り出します。



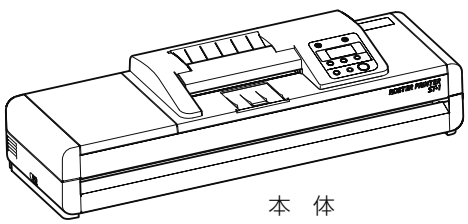
2 本体を取り出します。



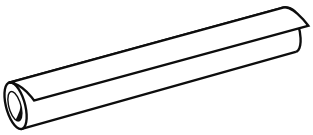
⚠ 注意
梱包材（段ボール）や袋類は、各自治体の廃棄ルールに従って廃棄してください。

付属品の確認

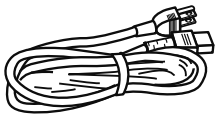
開梱に際しては必ず本体および付属品が揃っていることを確認してください。

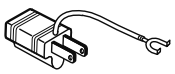

本　体

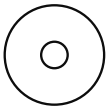
テスト用紙
（直接感熱紙:915mm×15m 巻）



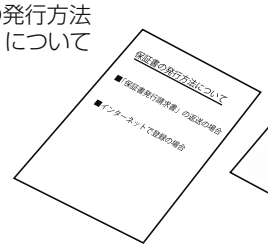
基本操作説明書

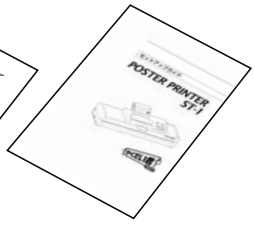

電源コード（1本）

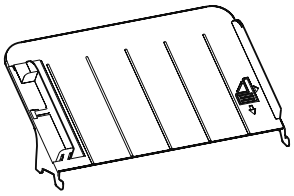

アダプタ

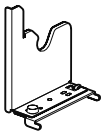

プリンタ
ドライバ CD

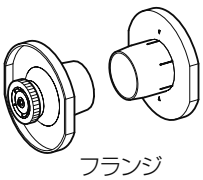
保証書の発行方法
について




セットアップガイド


原稿トレイ


フランジガイド
ユニット


フランジ
（ギア付き･ギアなし、各1個）

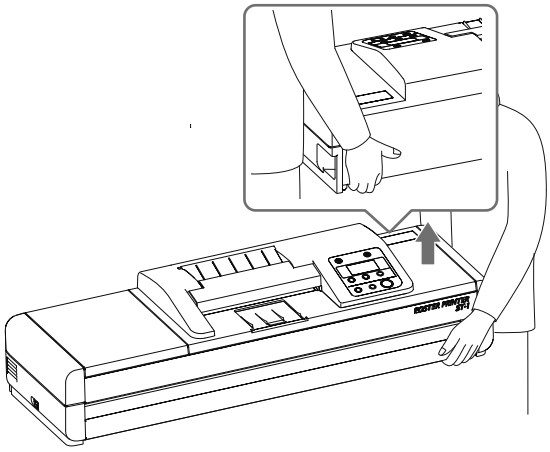
連絡先ラベル

設置

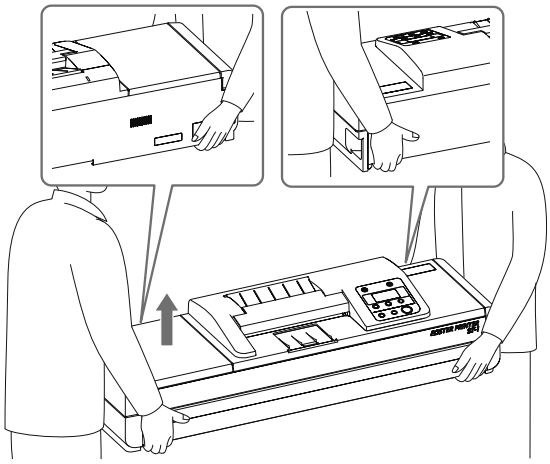
運搬時の注意

本機を運搬する際には、必ず機器底部の定められた箇所を定められた順番で、機器左右から２人で持って運搬してください。

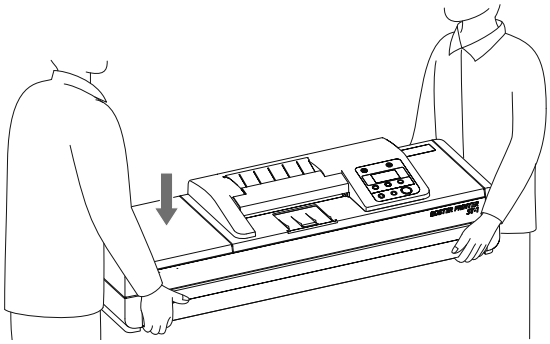
1 １人が機器右側底部に手を入れて少し持ち上げ、機器底部と床面の間に隙間を作ります。



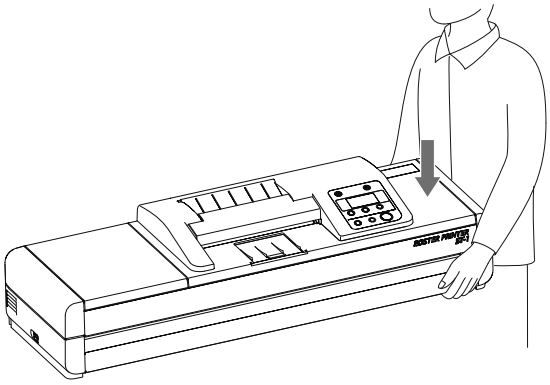
2 もう１人が機器左側に手を入れて右側の人といっしょに持ち上げます。



3 設置場所まで２人で運び、設置位置で機器左側を先に下ろして手を抜きます。



4 右側を下ろして手を抜きます。

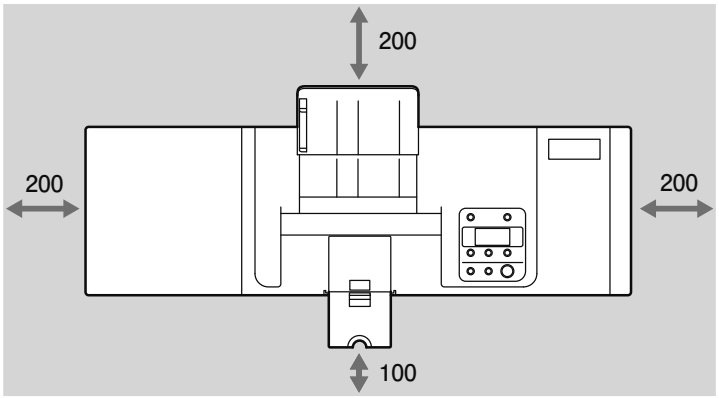


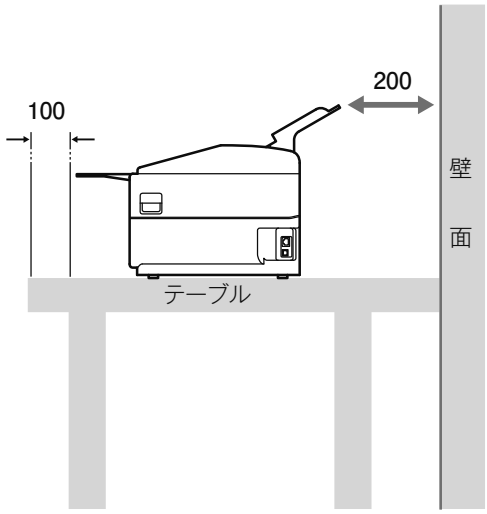
⚠ 注意

機器左背面下部には手がかり箇所がありません。そのため必ず機器の右側から持ち上げて底部に隙間を作ってください。下ろすときは機器左側から先に下ろして手を抜き、手が挟まれないように注意してください。

設置スペース

機器の性能を維持するために、下図のような設置スペースを確保してください（単位：mm）。
別売りの専用スタンド（オプション）のご使用をおすすめします。





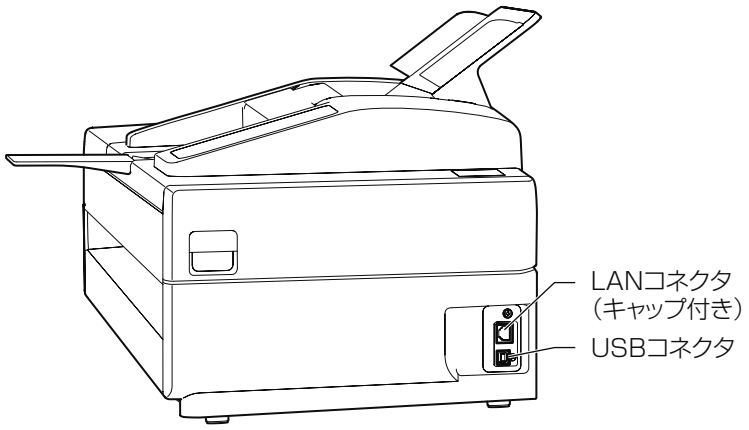
⚠ 注意

本体は重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

パソコン接続

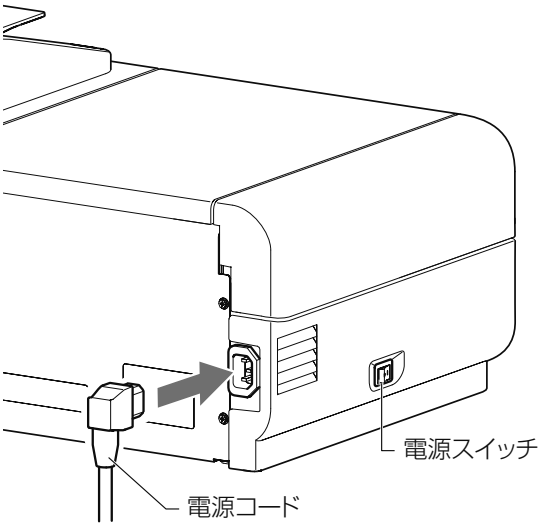
ST-1 は USB と LAN の 2 つのインターフェースを標準装備しています。
オンラインプリンタとしてご使用の場合は、ケーブルの接続、プリンタドライバのインストールを行なってください。

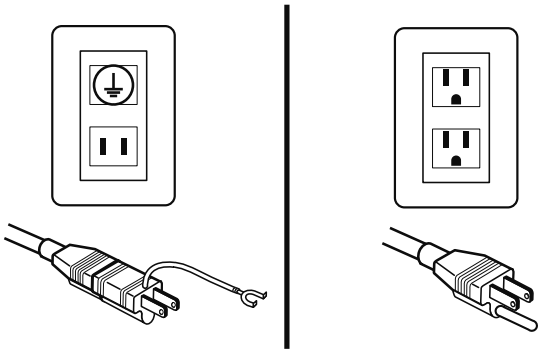
→プリンタドライバ CD 内の「POSTER PRINTER ST-1 プリンタドライバ取扱説明書」を参照。ネットワークプリンタとしてご使用の場合は、本書の P.59、「ネットワークの設定」を参照してください。



電源コードの接続

本体に電源コードを接続します。





2P コンセントの場合本体付属品のアダプタをご使用ください

3P コンセントの場合

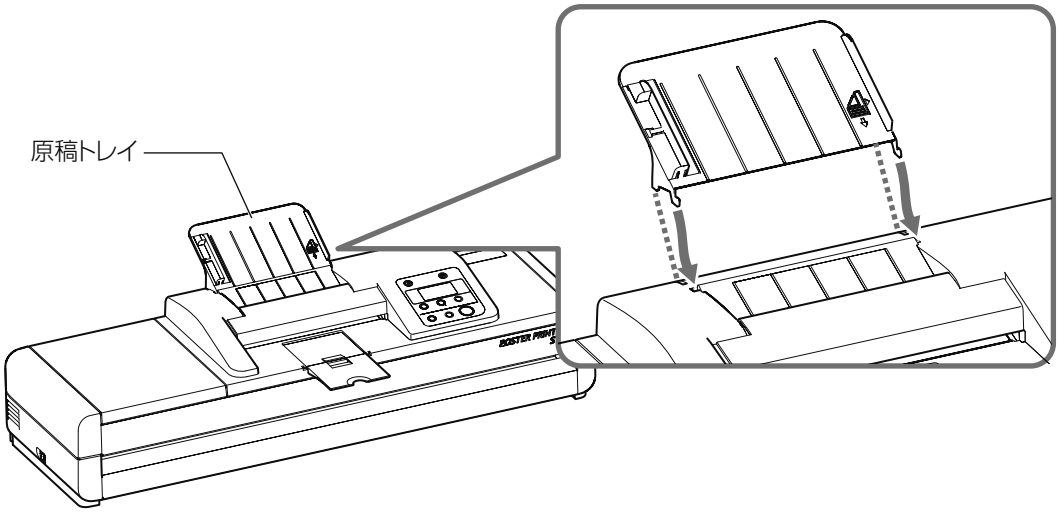
電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

- 電源コードを接続する場合は、必ず本体側から接続してください。
- アース線は必ずアース端子に接続してください。

原稿トレイの取り付け

付属の原稿トレイを本体に取り付けます。
原稿トレイの前脚をそれぞれ本体の取り付け穴に差し込み、後ろ側の脚を本体のスリットに差し込んで固定します。



安全上のご注意

POSTER PRINTER ST-1 を正しく安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

指示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度は、次の表示で区分されています。

⚠ 警告

この表示欄には、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」指示が記載されています。

⚠ 注意

この表示欄には、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」指示が記載されています。

お守りいただく具体的内容は、次の絵表示で区分されています。（下記は絵表示の一例です。）

してはいけない「禁止」指示です。
⃠の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。

必ず実行していただく「強制」指示です。
❗の中や近くに具体的な指示内容が書かれています。

⚠ 警告

禁　止

■ **指定以外の電源は使用しないでください**
火災、感電の恐れがあります。
▶ **定格 100V のコンセントを使用してください。**

■ **電源コードを傷つけないでください**
傷つけたり、破損したり、加工したり、重いものを乗せたりすると火災、感電の恐れがあります。

■ **タコ足配線をしないでください**
火災、感電の恐れがあります。

■ **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください**
感電の恐れがあります。

■ **カバーを外さないでください**
感電の恐れがあります。

■ **植込み型医療機器を装着されている方は、本機使用時に記録紙認識センサーから 22cm 以上離れてください。**
植込み型医療機器の動作に影響を及ぼす原因になることがあります。
→ P14,「各部の名称　■プリンター部」を参照。

電源プラグを抜く

■ **電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください**
引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の恐れがあります。

■ **異常（発熱・発煙・異臭など）が発生した場合は、すぐに本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください**
そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
▶ **お買い上げの販売店に連絡してください。**

■ **異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください**
そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
▶ **お買い上げの販売店に連絡してください。**

■**必ず、アース線接続を行なってください**

接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。
漏電した場合は、火災、感電の恐れがあります。

▶**アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。**

■**絶対に分解や改造をしないでください**

火災、感電の恐れがあります。

▶**故障の場合は、本体の電源を切り電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。**

⚠ 注意

■**不安定な場所に置かないでください**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■**通気孔を塞がないでください**

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■**機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください**

水などがこぼれて本体にかかったり、内部に金属物が入ると、火災、感電の原因となることがあります。
お買い上げの販売店に連絡してください。

■**湿気やほこりの多い場所では使用しないでください**

火災、感電の原因となることがあります。

■**通気孔から異物（金属類や燃えやすいものなど）を機器の内部に差し込んだり、押しこんだりしないでください**

火災、感電の原因となることがあります。

■**機器の上に重いものを置かないでください**

落ちて、けがの原因となることがあります。

■**持ち運びは無理をしないでください**

開梱や持ち運びは必ず 2 人以上で行なってください。けがの原因となることがあります。

■**本機及びスタンドを無理に押したり傾けたりしないでください**

倒れて、けがの原因となることがあります。

■**落としたり、カバーを破損した場合は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください**

そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
お買い上げの販売店に連絡してください。

■**機器を移動させる場合は、必ず本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください**

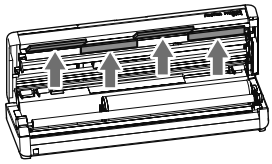
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■**連休などで長期間使用しないときは、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください**

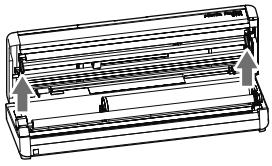
漏電により、火災の原因となることがあります。

■**カット操作中のカッターおよび記録紙に手を触れないでください。**
カッターの破損や、けがの原因になることがあります。

■**サーマルヘッドは熱くなっていることがあります。ヘッドクリーニングは、必ず電源を切って、ヘッドが冷えてから実施してください。**
熱によりやけどの原因になることがあります。

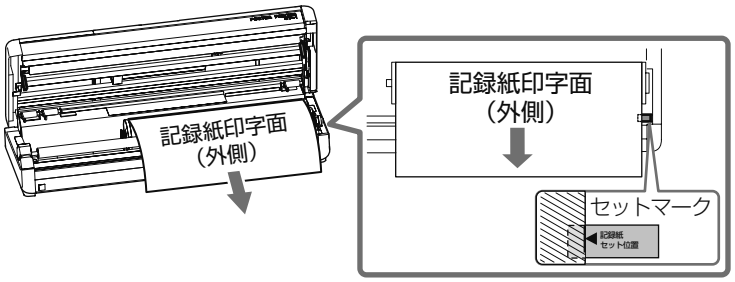


■**プリンターカバーを開けて、機器内部にアクセスする際は、カバーの金具に注意してください。**
手を挟み、けがの原因になることがあります。



正しくお使いいただくためのお願い

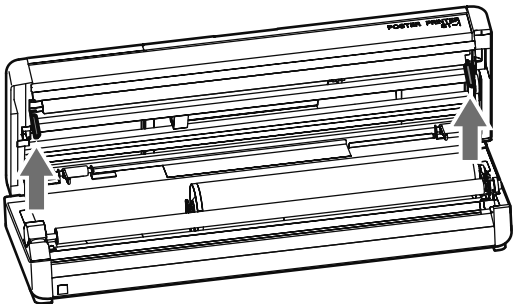
■記録紙のセットは先端部をまっすぐに引き出し、たるみのないようにして記録紙セット位置（セットマーク）に合わせてください。



■直射日光の当たる場所、冷暖房機の近くやほこりの多い場所には、置かないでください。

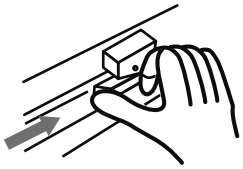
■プリンターカバーは、両端をゆっくり押して、両端を確実に閉めてください。

■プリンターカバーを開けて、機器内部にアクセスする際は、カバーの金具に注意してください。手を挟み、けがをする恐れがあります。



■プリント中はプリンターカバーを押しつけないでください。
■プリント中に記録紙を引っ張らないでください。
プリント品質に影響を及ぼします。

■停電や強制電源 OFF 等でカッターが途中で停止した場合は、カバーを開けて図示の部分を手で押して、右端に突き当たるまで戻してください。左方向には絶対動かさないでください。故障の原因になります。



■カッティング動作中のカッターに手を触れないでください。カッターの破損やけがをする恐れがあります。

■プリント直後のサーマルヘッドは熱を持っていますので、注意してください。熱によりやけどする恐れがあります。

■記録紙フィードローラを傷つけないように注意してください。
また、記録紙フィードローラの表面を清掃する場合は、無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。
→ P77,「清掃方法」を参照。

■機器内に、ピン、クリップなどの異物を入れないでください。

■お手入れの際は、柔らかい布を使用してください。

■研磨剤入りのクリーナーやシンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
（変形、変色の原因となることがあります。）

■サーマルヘッドを清掃する場合は、無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。
→ P77,「清掃方法」を参照。

■電源を入れた直後の初期動作中および、プリント動作中に電源スイッチを切り、そのまま放置すると印字不良の原因となります。

■電源スイッチを切る場合は、必ず本機が停止しており、初期画面が表示されていることを確認してください。

本機の特長

1 記録紙認識センサーにて記録紙情報を読み取ることで、機器と消耗品の最適化を図っています。

● **記録紙自動認識**

記録紙種類や記録紙幅を自動で認識しますので、個別に記録紙設定の必要がありません。

● **画質自動調整**

自動認識した記録紙種類に応じた画質を自動で調整しますので、いつでも最適な画質が得られます。

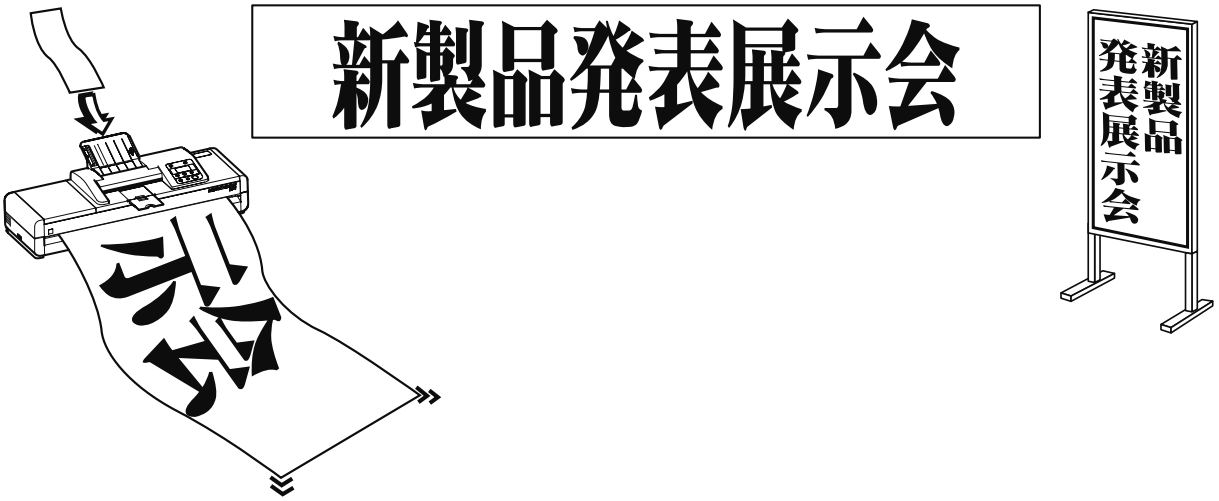
● **残量表示**

記録紙の残量（目安）を表示しますので、プリント途中の記録紙切れを防げます。

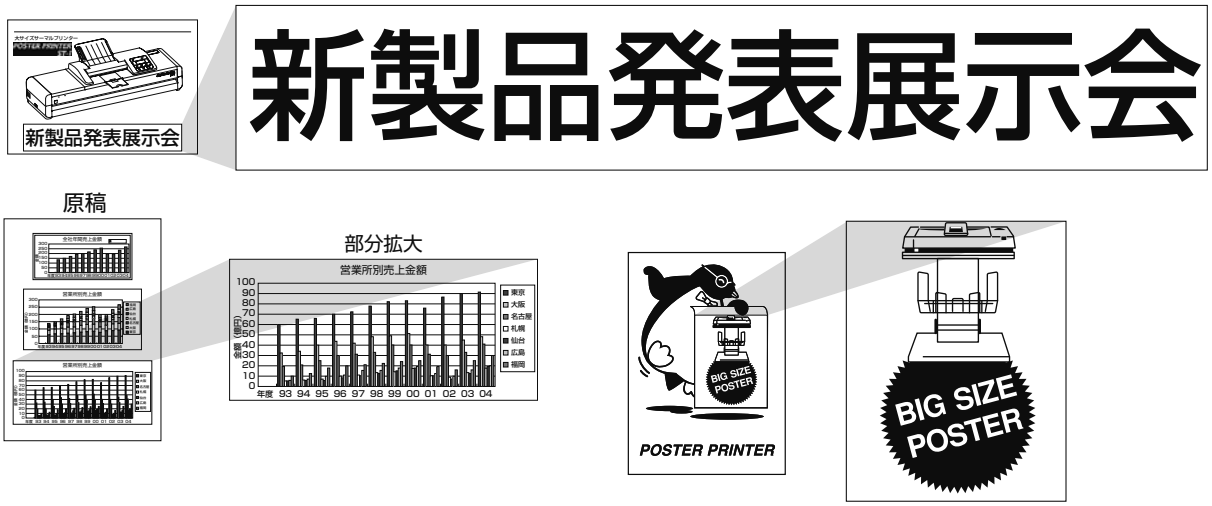
2 初めての方にも素早く簡単に、A4 原稿から高速で高画質の拡大プリントが作れます。

標準モード　反転モード　写真モード

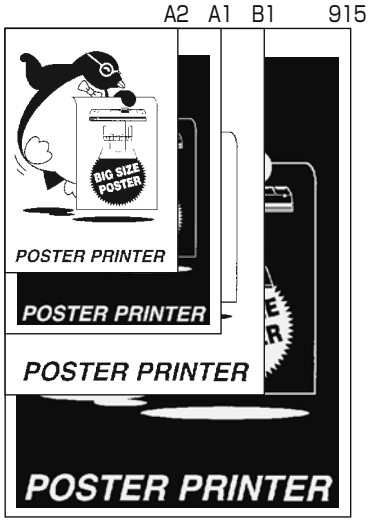
3 長尺原稿も同じ操作で、横断幕・立て看板が簡単に作れます。



4 部分拡大プリント機能で、原稿の一部分から簡単に拡大プリントが作れます。



5 915mm、B1、A1、A2 幅の記録紙が使用できますので、目的に合ったサイズの拡大プリントが作れます。



6 用途に合わせた各種、各色の記録紙が揃っています。

→ P67,「記録紙について」を参照。

● 感熱紙（直接感熱紙、高耐光感熱紙）

低ランニングコストの直接感熱紙のほか、高耐光感熱紙が用意されています。室内での使用に適しています。

● 転写紙（熱転写紙）

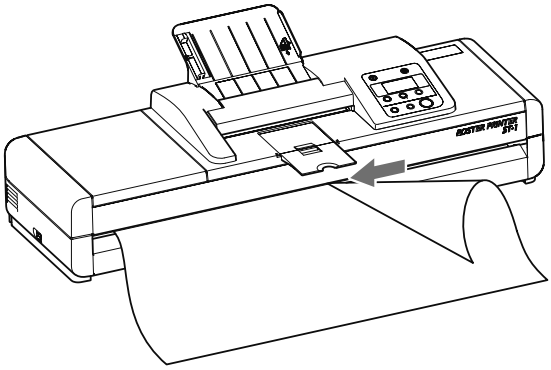
普通紙タイプの記録紙です。画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。

● 特殊紙（高耐久感熱フィルム）

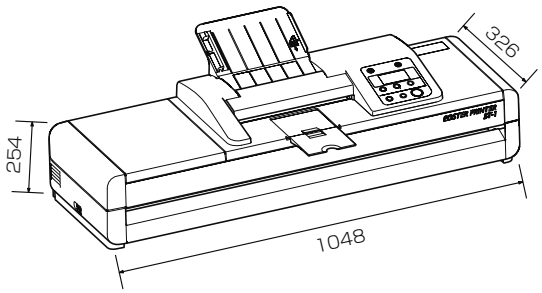
フィルムタイプのため破れにくく、看板・垂れ幕に使用することができます。

7 オートカッターを搭載。

プリント終了後、記録紙を自動的にカットするオートカッターを装備しています。



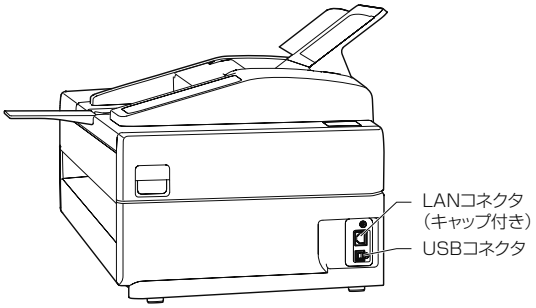
8 プリンタとスキャナー一体型で小型軽量、小さなスペースでも設置可能です。



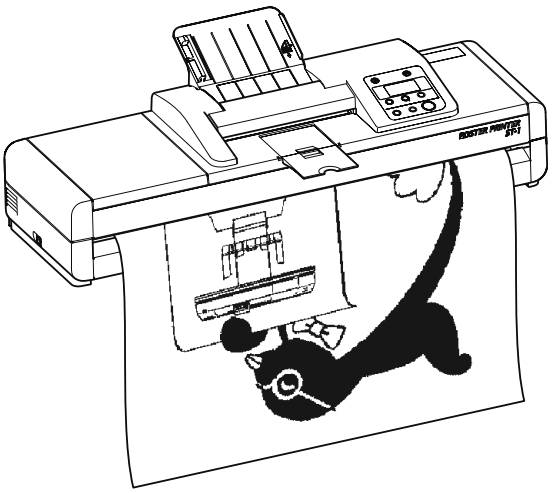
（原稿トレイ、原稿排紙トレイ、電源コードを除く）

9 パソコンからプリントができます。

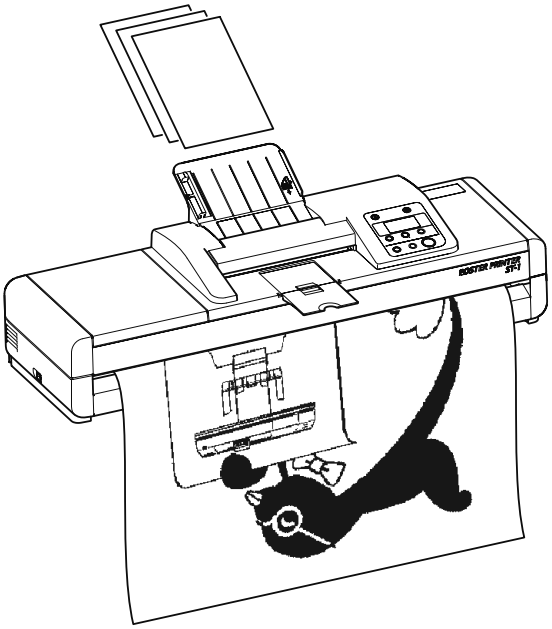
- USB2.0 と LAN（10Base-T/100Base-TX）に対応していますので、パソコン単体およびネットワークでのプリントができます。
  プリンタドライバは、
  Windows Vista(32/64bit)/7(32/64bit)/8(32/64bit)/8.1(32/64bit)/10(32/64bit)に対応しています。
- USB コネクタと LAN コネクタは本体右側面に配置していますので、ケーブルを接続して使用してください。



10 1 枚の原稿から最大 99 枚までのマルチプリントができます。



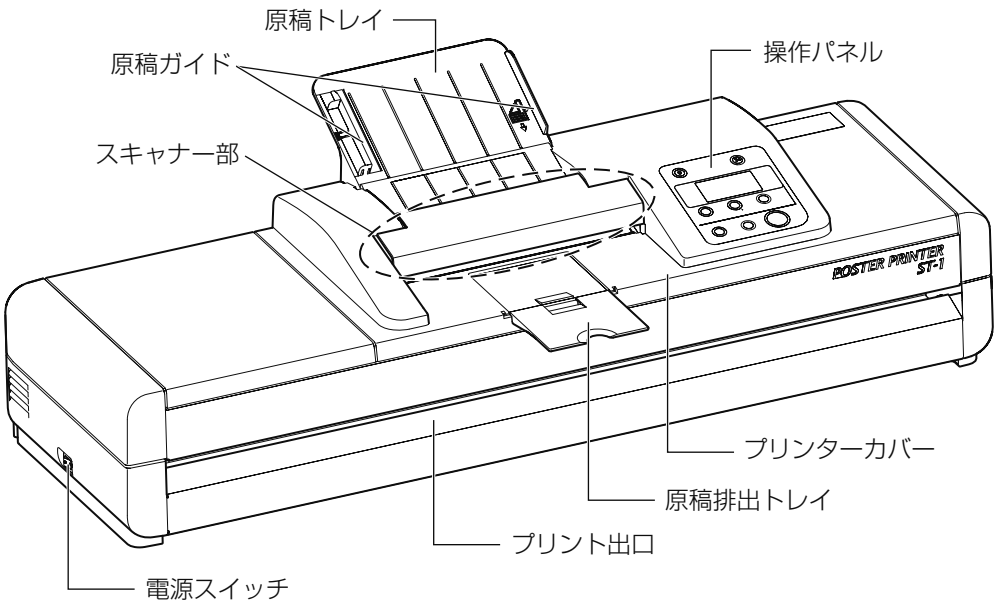
11 原稿メモリープリントにより、複数の原稿を読み取り、プリントできます。



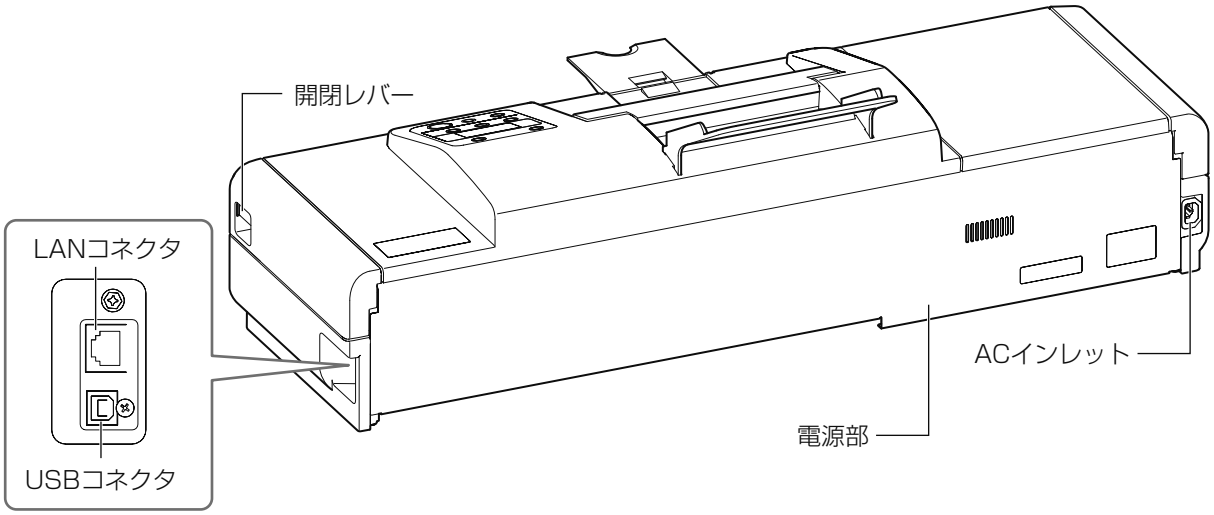
環境にやさしい部品を使用しています。
有害化学物質が少ない RoHS 対応部品を使用した環境配慮商品です。

2 各部の名称

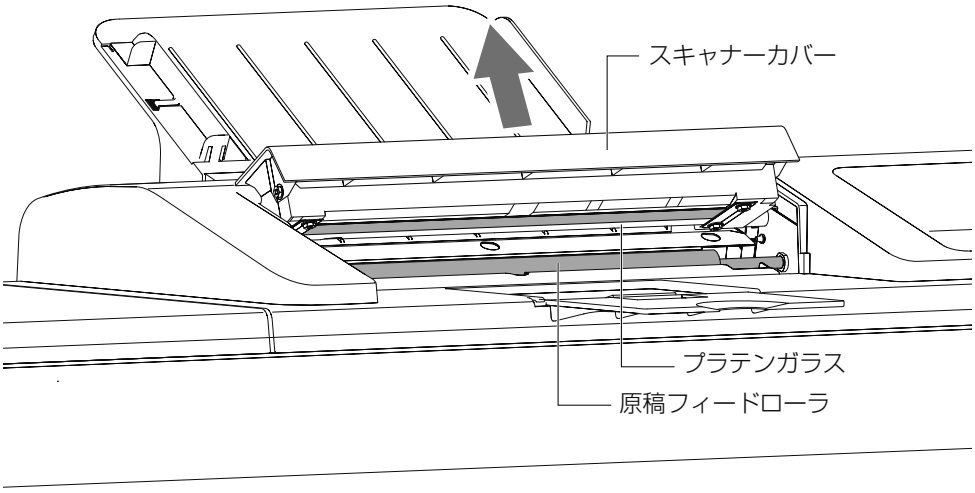
前　面


原稿トレイ
原稿ガイド
操作パネル
スキャナー部
POSTER PRINTER
ST-1
プリンターカバー
原稿排出トレイ
プリント出口
電源スイッチ

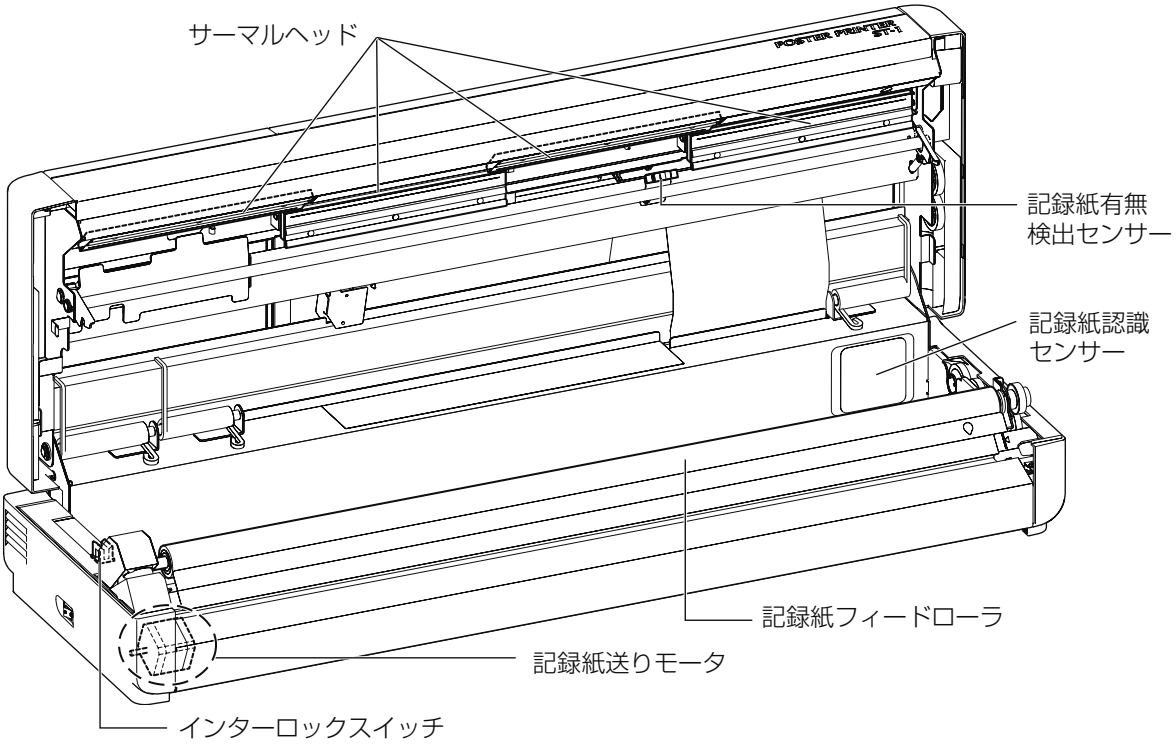
背　面


開閉レバー
LANコネクタ
USBコネクタ
ACインレット
電源部

スキャナー部

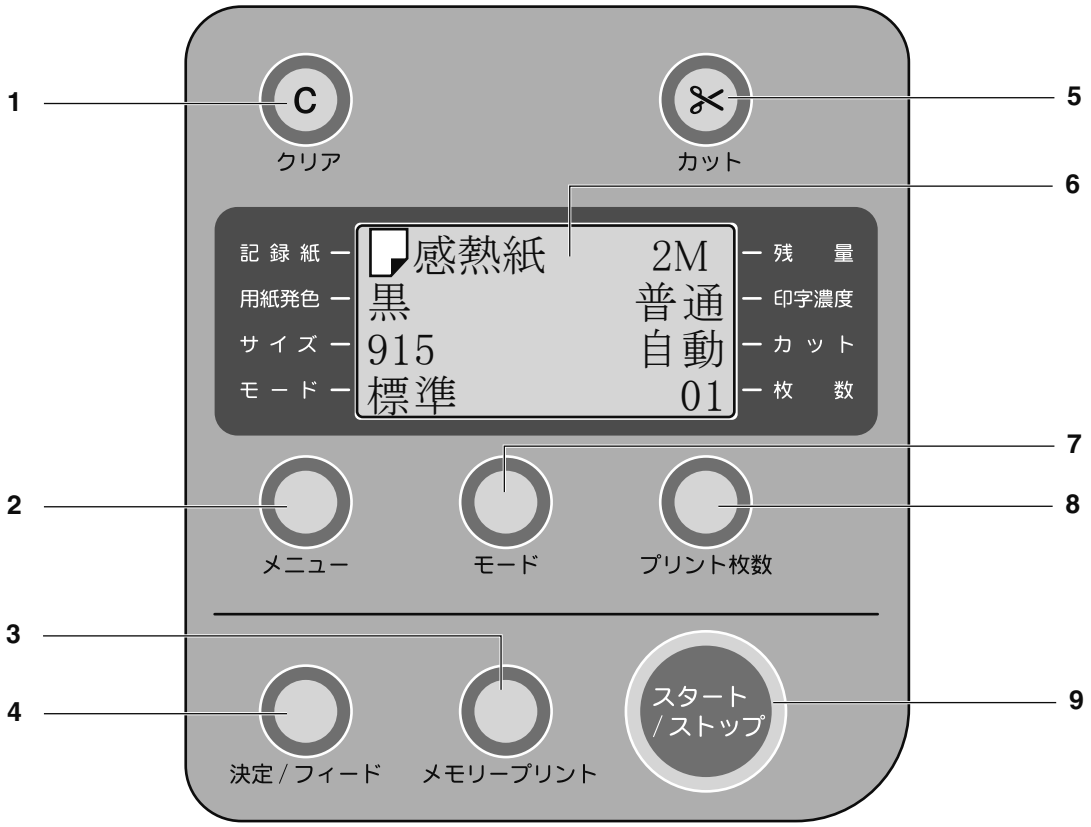


プリンター部



※プリンターカバーは、約 60 度の角度までしか開きません。このイラストは、説明のため実際より大きな角度に開いています。

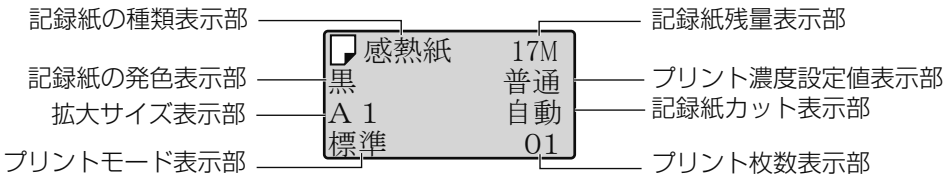
操作パネル



注意
ご使用の前にパネルの保護シートをはがしてください。

No.	名　　称	は　た　ら　き
1	クリアボタン	●各種機能の設定を終了するときに押します。 ●オンライン操作中のクリアを行ないます。
2	メニューボタン	本体の各種機能を設定します。P52,「機能設定モード」を参照。
3	メモリープリントボタン	複数の原稿を読み込んでメモリーに記憶します。
4	決定／フィードボタン	●各種機能を設定するときに押します。 ●用紙を送るときに押します。
5	カットボタン	用紙をカットする場合に押します。
6	メッセージ表示部	記録紙の種類、記録紙のサイズ、プリントモード、記録紙残量、プリント濃度、カット動作、エラーメッセージなどを表示します。
7	モードボタン	プリントモードの設定をします。（標準／写真／反転の順に表示）
8	プリント枚数ボタン	プリント枚数を設定します。
9	スタート／ストップボタン	プリントのスタートまたは停止するときに押します。

■ メッセージ表示部の内容



2

■ 記録紙の種類と設定

● **専用記録紙**

専用記録紙は、「感熱紙」（直接感熱紙、高耐光感熱紙）・「転写紙」（熱転写紙）・「特殊紙」（高耐久感熱フィルム）が準備されています。用途に合わせて使用してください。

→ P67,「記録紙について」を参照。

なお、専用記録紙は本機へのセットで自動的に認識され、記録紙の種類および発色が表示されます。

専用記録紙以外の記録紙では、記録紙の種類が「その他記録紙」と表示され、別途手動による用紙設定が必要になります。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示されたときの設定」を参照。

■ 記録紙カットについて

● プリント終了後の用紙カットを自動カット、手動カットのいずれかに設定します。

● オンラインプリントの場合はコンピュータで用紙カットを設定してください。
初期値は自動（自動カット）です。
記録紙のカット設定は

→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。

■ プリント枚数設定について

● ［プリント枚数］ボタンで枚数を設定します。
［プリント枚数］ボタンを１回押す毎に１カウントアップします。

● 枚数の設定を間違った場合は［クリア］ボタンを押して再度設定してください。

注意

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙情報が認識できないため、印字速度が遅くなります。また、専用記録紙以外の記録紙使用に起因するトラブルについては、保証期間内であっても有償修理となります。

■ プリントモードについて

次の３種類のプリントモードがあります。

モード	表示部	使　用　原　稿
標　準	標準	文字原稿の場合に使用します。
写　真	写真	写真原稿の場合に使用します。
反　転	反転	白黒を反転させてプリントする場合に使用します。

■ 拡大サイズについて

本体にセットされている記録紙のサイズにより次の順に設定されます。

→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。

記録紙のサイズ	拡　大　サ　イ　ズ
A2	A2 → B3
A1	A1 → B2 → A2 → A0 × 2 (◨) → A0 × 2 (◧)
B1	B1 → A1 → B2 → A2 → B0 (◨) → B0 (◧)
915	915 → A0 → B1 → A1 → B2

■ プリント濃度について

原稿に対してプリント濃度を 5 段階で設定できます。

→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。

プリント濃度設定
薄く
やや薄く
普通
やや濃く
濃く

■ 記録紙残量長さの単位について

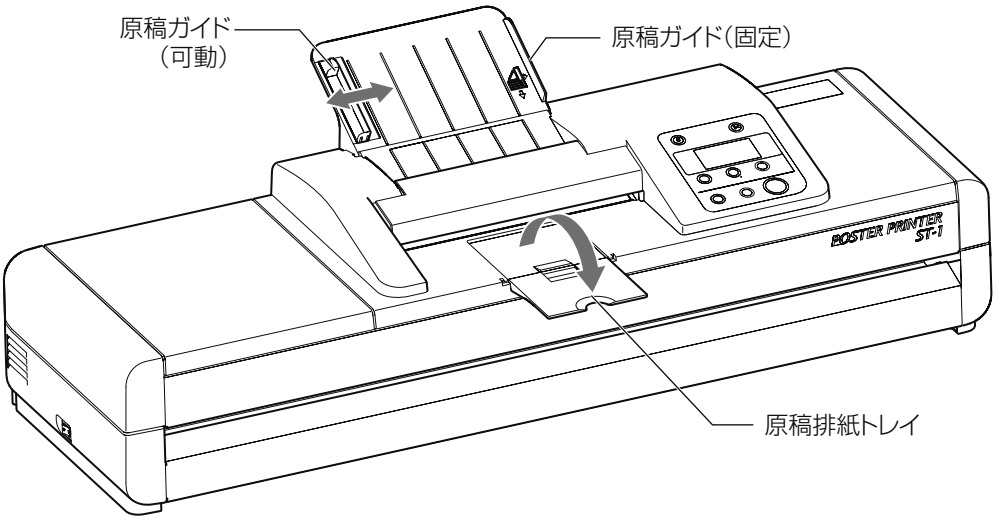
記録紙残量表示の長さの単位をメートル（M）、フィート（FT）のいずれかに設定できます。
初期値は、メートル（M）です。

→ P58,「長さ表示の設定」

3 プリントを行なう前に

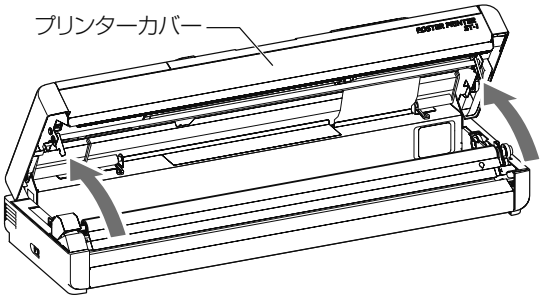
原稿ガイドの調整

原稿幅に合わせて、原稿ガイドを調整します。
右側の原稿ガイド（固定）に原稿を合わせ、左側の原稿ガイド（可動）を調整します。
また、原稿排紙トレイを手前に倒します。



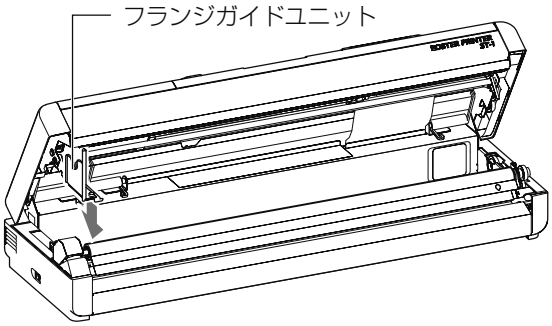
記録紙をセット（915 サイズの場合）

1 **開閉レバーを解除し、プリンターカバーが止まるまで静かに開けます。**

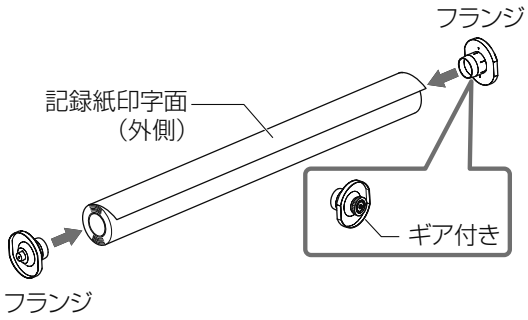


2 **フランジガイドユニットを 915 サイズに合わせ、セットします。**

→ P21,「フランジガイドユニットの取り扱い」を参照。

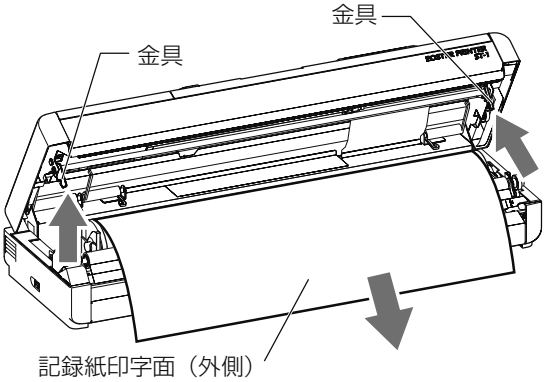


3 **記録紙の両端にフランジを取り付けます。**



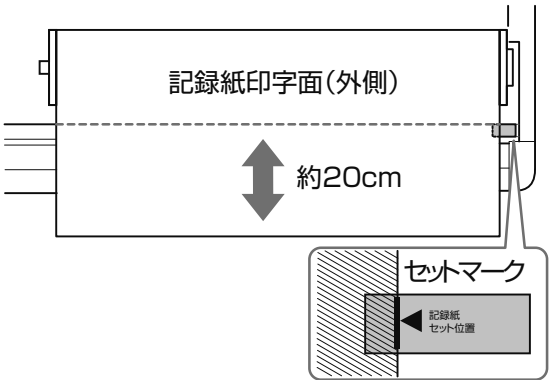
ギア付きフランジは、記録紙の引き出し方向を手前にした状態で、右側に取り付けてください（上図参照）。

4 **本体に記録紙をセットします。**
図のように、記録紙の印字面が外側になっていることを確認して、記録紙をセットします。



注意
プリンターカバーを開けて、機器内部にアクセスする際は、カバーの金具に注意してください。手を挟み、けがをする恐れがあります。

5 **記録紙を正しくセットマークに合わせます。**
図のように記録紙の先端部を手前に約 20cm まっすぐに引き出し、たるみのないように引っ張りながら記録紙セット位置（セットマーク）にそって記録紙をセットします。

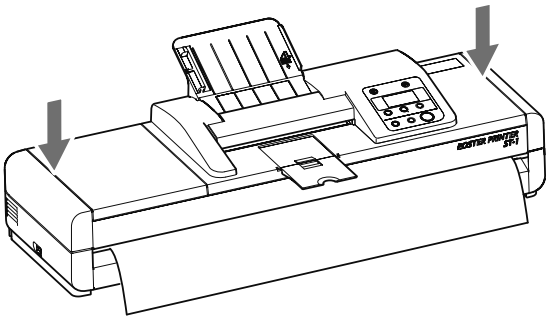


記録紙が正しくセットされていないと、画像が斜めにプリントされたり、シワが発生することがあります。

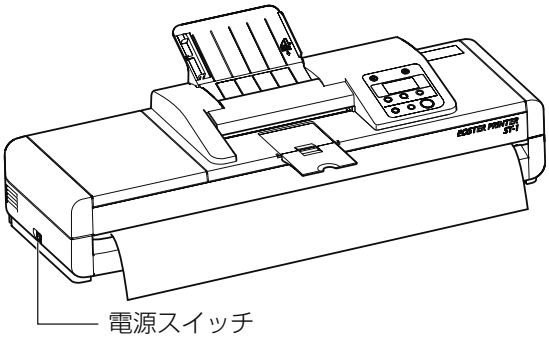
3

6 **プリンターカバーの両端をゆっくり押して確実に閉めます。**

両端が完全に閉まったことを確認してください。



7 **電源スイッチを入れます。**



電源スイッチを入れると、初期動作が実行され、記録紙の認識動作が行われます。

注意

初期動作中およびプリント途中では、電源を切らないでください。

8 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

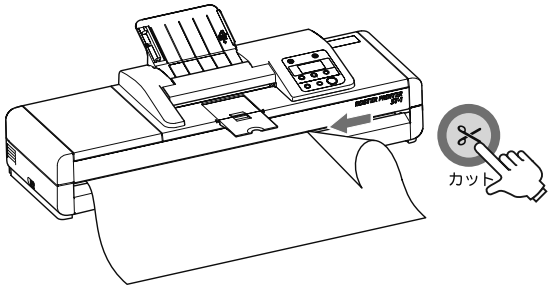
```
感熱紙      17M
黒          普通
915         自動
標準          01
```

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

9 **記録紙をカットします。**

［カット］ボタンを押して、カットしてください。



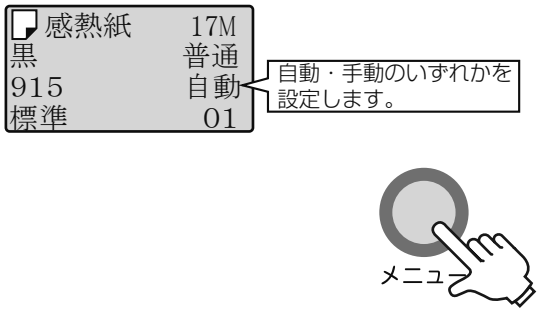
注意

カッター動作中はカッターに触れないでください。けがやカッター破損の原因となります。

10 **記録紙のカット方法を設定します。**

プリント終了後の用紙を自動カットまたは手動カットのいずれかに設定します。

→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。

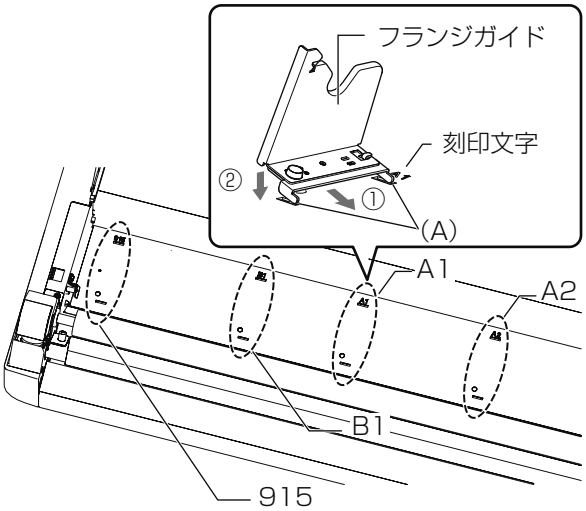


自動カット設定の場合：
プリント終了後、自動でカットします。
手動カット設定の場合：
プリント終了後は、記録紙をカットしません。［カット］ボタンを押してカットします。

フランジガイドユニットの取り扱い

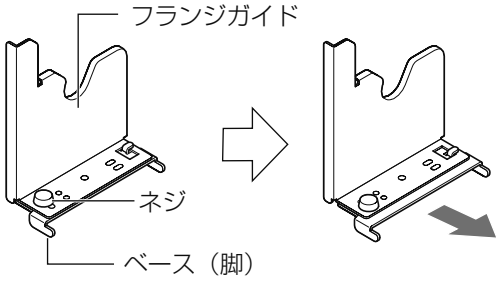
本体へのセット方法

フランジガイドの脚２箇所を、機器本体の記録紙サイズに対応した取り付け穴２箇所（A）に入れ、①→②の順でセットします（記録紙サイズは刻印文字で表示されています。）。



フランジガイドの調整

記録紙の伸びによりフランジを取り付けた記録紙がフランジガイドに入らない場合は、ネジを緩めてフランジガイドのベース（脚）を矢印の方向に引き出してからネジを締め付けます。

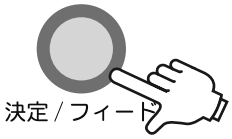


「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定

「記録紙を検出できません」が表示された場合は、手動で記録紙幅と発色を設定してください。
専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットして電源を入れると、このメッセージが表示されます。
また、プリンターカバーを開閉した場合も同様に表示されます。

1 **「記録紙を検出できません」が表示されていることを確認します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。

記録紙を検出でき
ません
決定ﾎﾞﾀﾝ→
手動設定



2 **［モード］ボタンを押して、「記録紙幅」を選択します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。

記録紙幅
Ａ２
ﾓｰﾄﾞﾎﾞﾀﾝ→設定
決定ﾎﾞﾀﾝ→確定

注意
記録紙幅の選択を間違えると、印字不良の原因ならびに機器故障の原因となる場合があります。

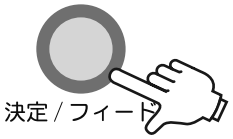
3 **［モード］ボタンを押して、「記録紙発色」を選択します。**

記録紙発色
黒
ﾓｰﾄﾞﾎﾞﾀﾝ→設定
決定ﾎﾞﾀﾝ→確定

注意
セットした記録紙の発色の色を選択してください。

4 **［決定 / フィード］ボタンを押します。**

記録紙発色
黒
ﾓｰﾄﾞﾎﾞﾀﾝ→設定
決定ﾎﾞﾀﾝ→確定



5 **初期画面に戻ります。**

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合

```
その他記録紙
              普通
A 0×2 ▌      自動
標準          01
```

※プリンターカバーを閉じた場合の操作時は、印字等を継続するかどうかのメッセージ画面が表示されます。

注意

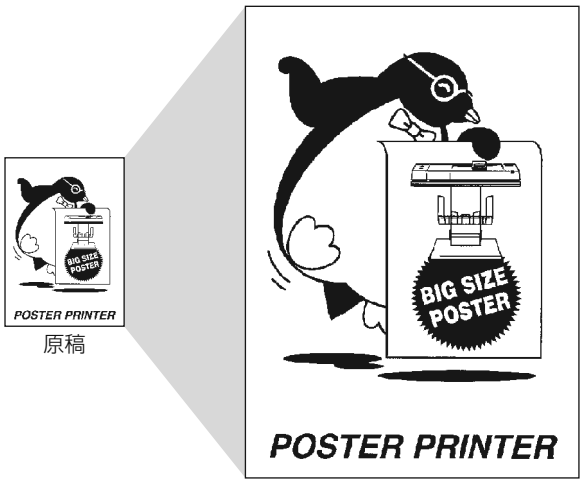
専用記録紙を使用しているときに「認識エラー」または「記録紙を検出できません」が表示された場合は、記録紙を正しく再セットしてください。再度エラーが表示される場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

→ P72,「こんなメッセージが表示されたら」を参照してください。

3

4 基本的な使い方

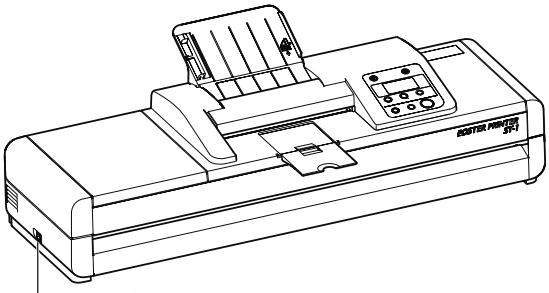
標準モードプリント



原稿

標準モードプリント

1 **電源スイッチを入れます。**



注意
初期動作中およびプリント途中では、電源を切らないでください。

2 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**
本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。
→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

3 **プリントモードを標準にします。**
［モード］ボタンを押して、標準モードを設定します。

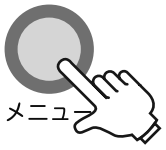
```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

4 **必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。**
→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。

```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

プリント濃度を設定します。

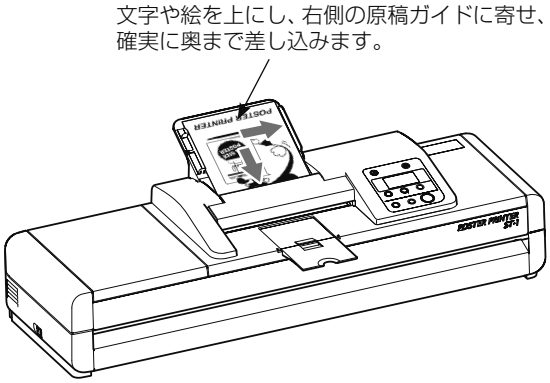
拡大サイズを設定します。



5 原稿をセットします。

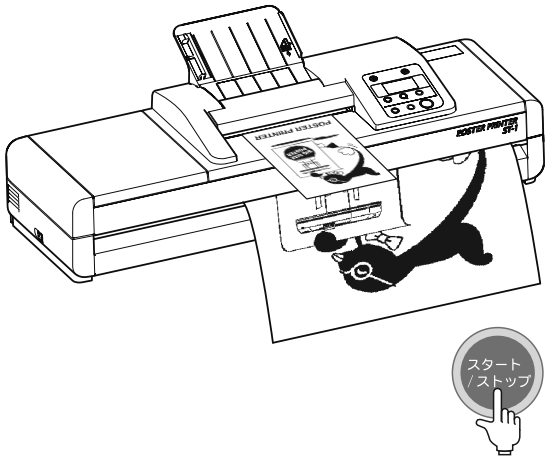
原稿の文字や絵を上向きにし、1 枚ずつ原稿トレイにセットします。

※複数枚の原稿をまとめてセットすることはできません。



6 ［スタート / ストップ］ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、プリントが開始されます。

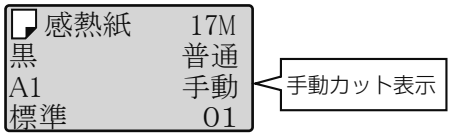


プリントを途中で中止する場合は、再度、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

7 プリント終了後、記録紙が自動でカットされます。

手動カット設定の場合は、［カット］ボタンを押してカットしてください。

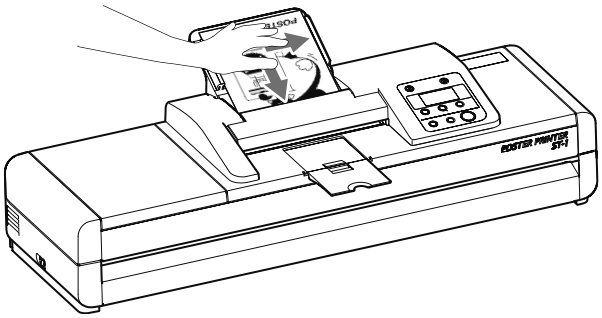
→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



4

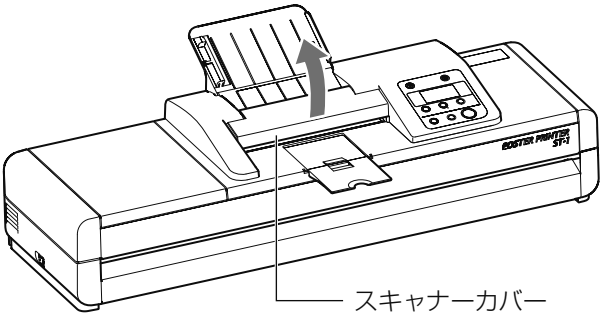
［スタート / ストップ］ボタンを押しても原稿が送られなかった場合

原稿を挿入方向に奥まで軽く突き当てながら、再度、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

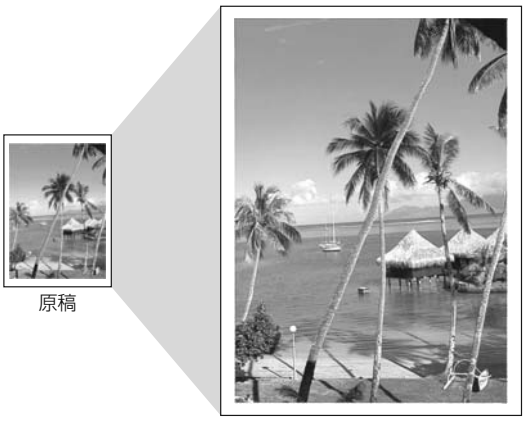


原稿紙づまりが発生した場合

原稿紙づまりが発生した場合は、スキャナーカバーの手前側を上に持ち上げて、原稿を取り除いてください。



写真モードプリント



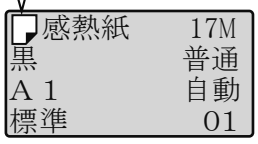
写真モードでの注意

- プリント上に周期的にタテの線が発生することがありますが異常ではありません。
- カラー写真等からプリントする場合、黄色や水色など濃度のうすい部分の再現性が悪くなることがあります。
- 熱転写紙の場合はややコントラストが高くなります。

1 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

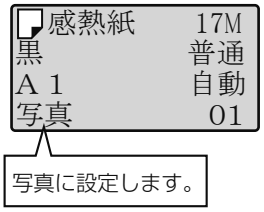


専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

2 **プリントモードを「写真」にします。**

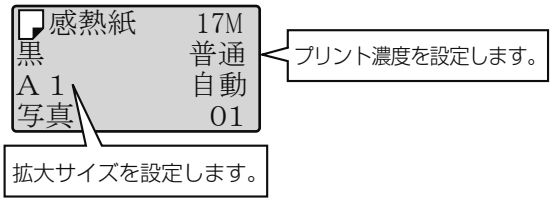
［モード］ボタンを押して、写真モードプリントに設定します。

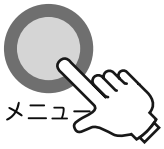


写真に設定します。

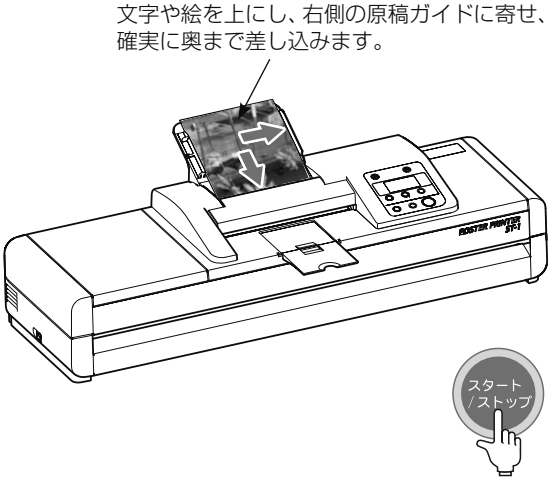
3 **必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。**

→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。

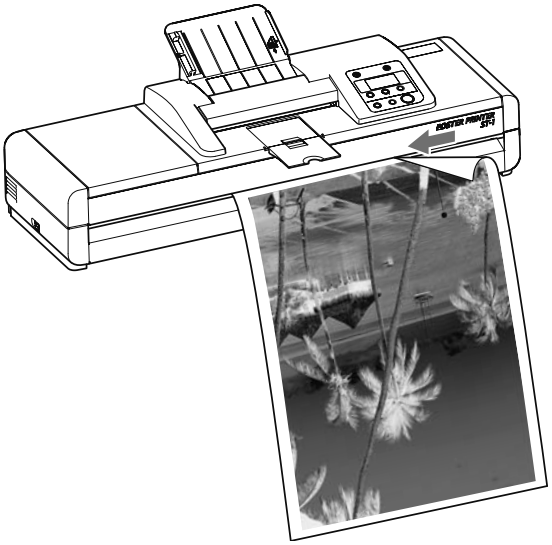




4 原稿をセットして、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

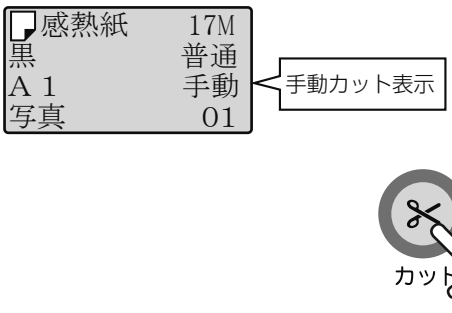


5 プリント終了後、記録紙が自動でカットされます。



手動カット設定の場合は、［カット］ボタンを押してカットしてください。

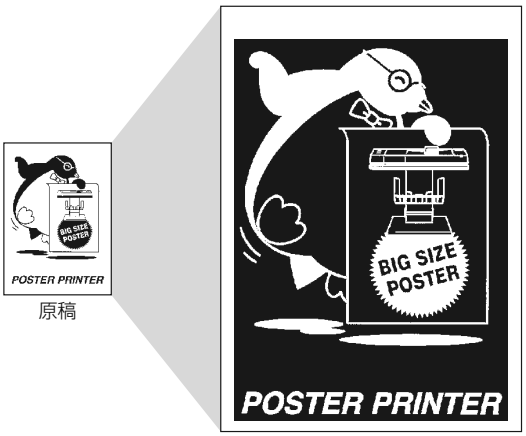
→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



注意

文字部分の濃度が若干薄くなることがあります。その場合はプリント濃度設定機能でプリント濃度を「やや濃く」に設定してください。プリントの白い部分にドット状のヨゴレのような物が発生することがあります。その場合はプリント濃度を「やや薄く」に設定してください。

反転モードプリント



原稿

反転モード

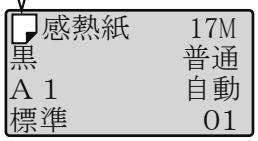
反転モードでの注意

- 反転モードプリント中は、サーマルヘッドの温度が上昇しやすくなります。ST-1 は、サーマルヘッドの温度を検出して、印字動作をコントロールしているため、高温になると印字動作が一時的に停止することがあります。
  （メッセージ表示部には、「サーマルヘッド温度低下待ちにつきしばらくお待ちください」と表示されます。）
- 長尺原稿で反転モードプリントを実施する場合、原稿サイズは A4 を縦方向に 2 枚貼り合わせたサイズより小さくしてください。サーマルヘッドの温度が高温になり過ぎると印字中止になる場合があります。
  → P42,「長尺原稿からのプリント」を参照。

1 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

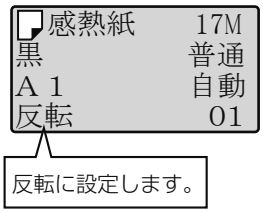


専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

2 **プリントモードを「反転」にします。**

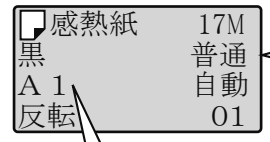
［モード］ボタンを押して、反転モードプリントに設定します。



反転に設定します。

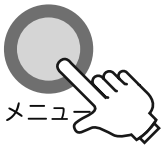
3 **必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。**

→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。



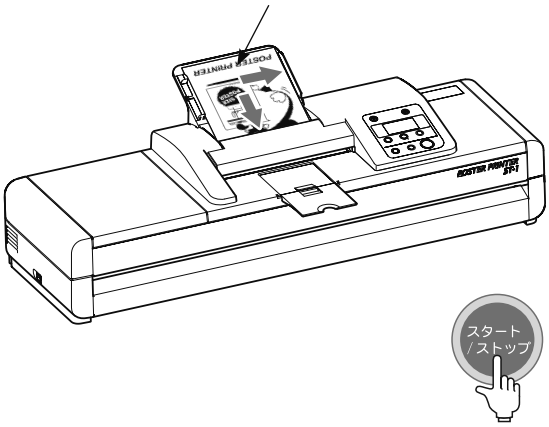
プリント濃度を設定します。

拡大サイズを設定します。



4 **原稿をセットして、［スタート / ストップ］ボタンを押します。**

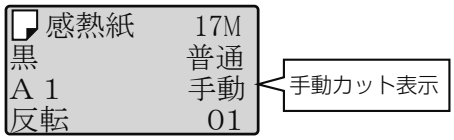
文字や絵を上にし、右側の原稿ガイドに寄せ、確実に奥まで差し込みます。



5 **プリント終了後、記録紙が自動でカットされます。**

手動カット設定の場合は、［カット］ボタンを押してカットしてください。

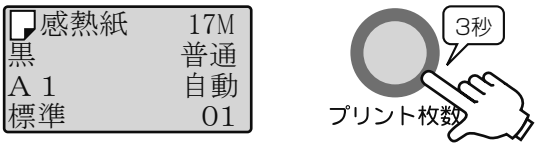
→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



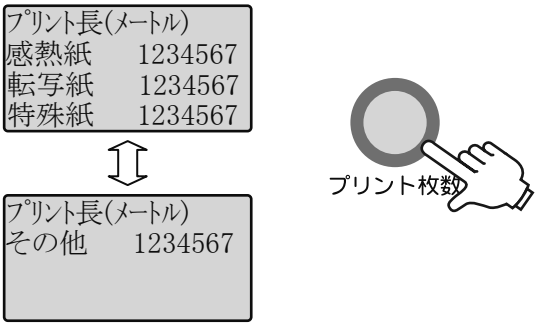
プリント長表示

本機が使用した記録紙の総印字長を、各種類毎に表示できます。

1 **初期画面で、［プリント枚数］ボタンを 3 秒以上押し続けます。**



2 **プリント長画面を表示します。**
［プリント枚数］ボタンを押すと画面が切り替わります。



3 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**

注意

プリント長は、以下の条件でカウントしています。

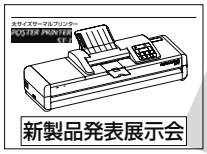
- **通常プリント時**
- **パソコンからのプリント時**
- **テストプリント時**
- **フィードボタンを押した時**

なお、通常のバックフィード時、初期動作時の用紙搬送、および任意に引き出した場合の用紙量はカウントしていません。

5 各種サイズのプリント

部分拡大プリント

原稿の一部分を簡単に拡大プリントします。

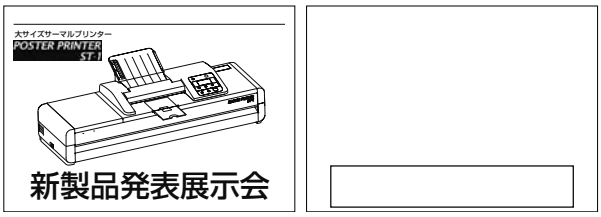


新製品発表展示会

部分拡大プリントでの注意点

- 分割プリントはできません。
- 部分拡大プリントが可能な領域は幅 50mm ～ 194mm、長さ 50mm ～ 1988mm です。

1 **拡大シートを作ります。**

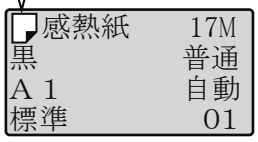


→ P34,「拡大シートの作り方」を参照。

2 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

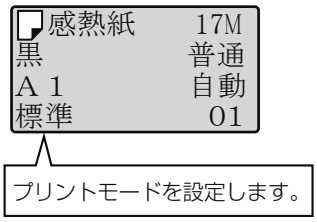
感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。



専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

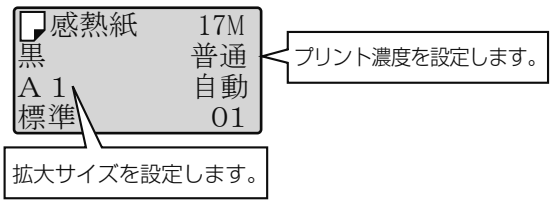
→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

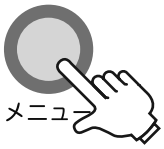
3 **必要に応じて［モード］ボタンを押して、プリントモードを設定します。**



4 **必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。**

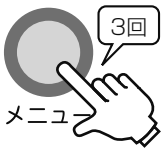
→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。





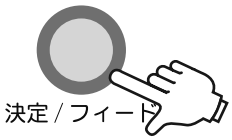
5 初期画面で、［メニュー］ボタンを３回押します。

感熱紙　17M
黒　普通
Ａ１　自動
標準　01



6 部分拡大機能の画面で、［決定 / フィード］ボタンを押します。

部分拡大
決定ﾎﾞﾀﾝ→開始
ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る

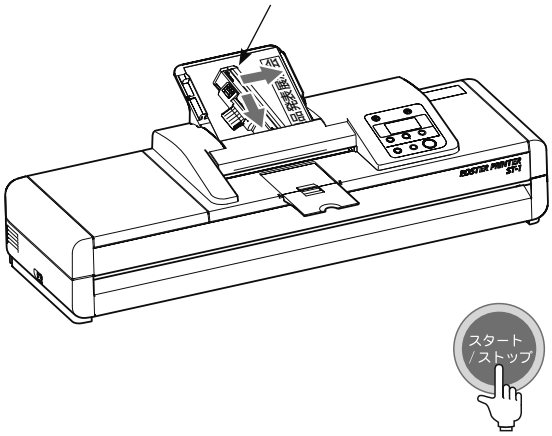


7 拡大シート読み取り画面が表示されます。

感熱紙　17M
拡大ｼｰﾄ→ｽﾀｰﾄ
Ａ１　自動
標準

8 拡大シートをスキャナにセットし、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

拡大シートの枠を上にし、右側の原稿ガイドに寄せ、確実に奥まで差し込みます。



9 「拡大シートデータ読み取り中」を表示した後、原稿読み取り画面が表示されます。

拡大シートデータ
読み取り中

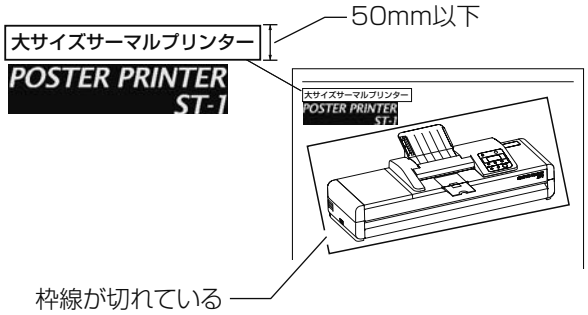
⇩

原稿読み取り画面

感熱紙　17M
原稿→ｽﾀｰﾄ
Ａ１　自動
標準

拡大シートの読み取り不良が出た場合

読み取り範囲
データエラー
ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝ→ﾘｾｯﾄ

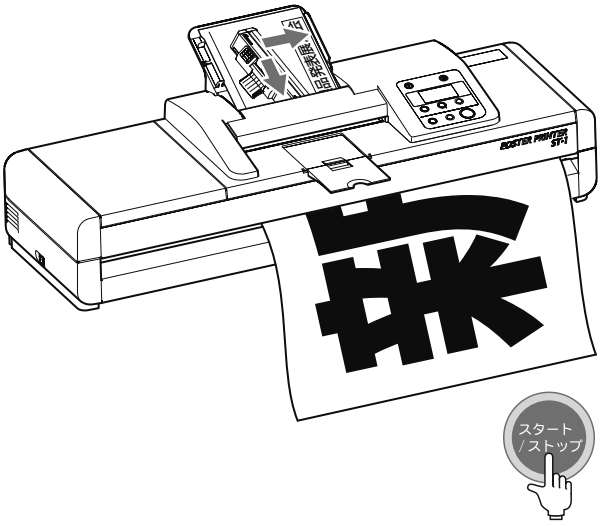


拡大シートの枠線が小さすぎたり、読み取り領域外、枠線の濃度が薄い、閉じた枠線を認識できない場合に、読み取り異常を表示します。
［スタート / ストップ］ボタンを押して、拡大シート読み取り前の状態に戻し、拡大シートを作り直して再度、読み取ってください。

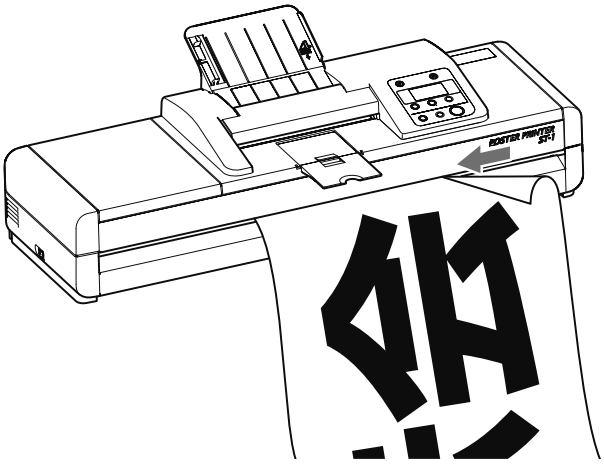
→ P34,「拡大シートの作り方」を参照。

10 **原稿をセットし、［スタート / ストップ］ボタンを押します。**

設定した拡大領域のプリントを開始します。

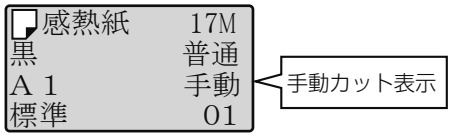


11 **プリント終了後、記録紙が自動でカットされます。**



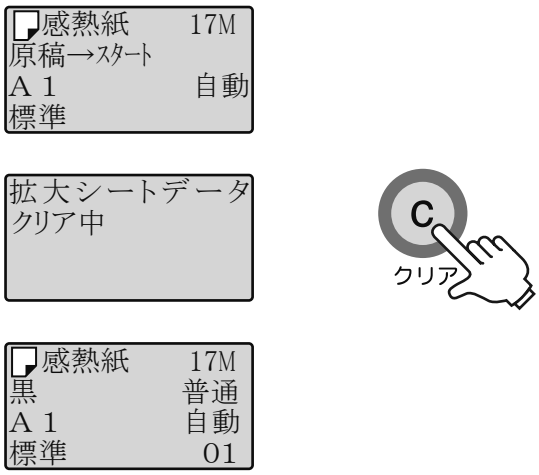
手動カット設定の場合は、［カット］ボタンを押してカットしてください。

→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



12 **部分拡大機能の解除方法。**

［クリア］ボタンを 1 回押すと、拡大シートの読み取りデータを解除し、初期画面に戻ります。

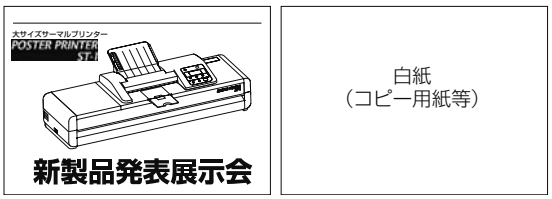


5

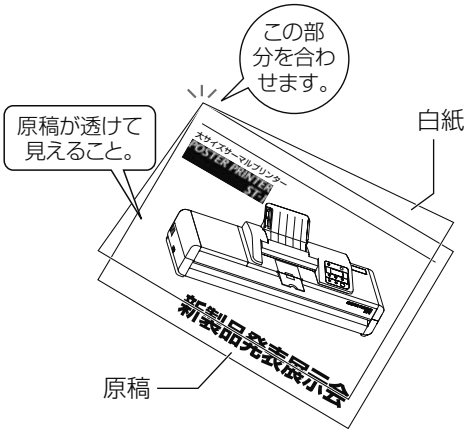
拡大シートの作り方

拡大シートとは、原稿の拡大したい部分を囲んで、読み取る領域を指定するためのシートのことをいいます。

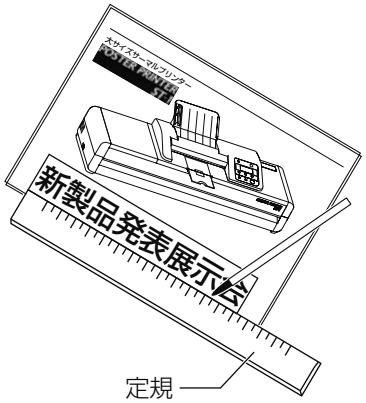
1 **原稿と同じサイズの白紙を用意します。**



2 **原稿の上に白紙の用紙を重ねます。**

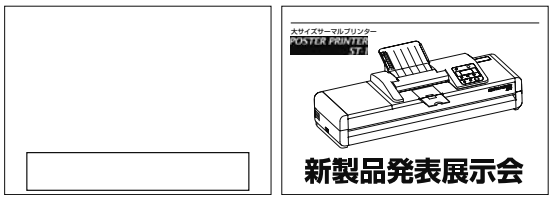


3 **拡大プリントしたい部分を黒いペンで囲みます。**
（50mm × 50mm 以上で囲んでください）



- 黒線は濃く 0.3mm 以上の線で描いてください。
- 使用するペンは、にじみの少ないものをご使用ください。
- 拡大シートは、1 ヵ所のみの囲みを指定してください。

4 **拡大シートのできあがり。**

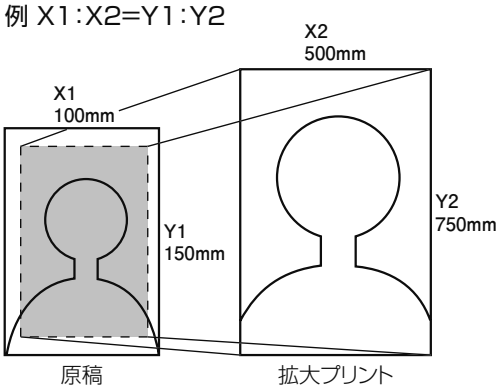


長尺の拡大シートを A4 の貼り合わせで作成するときは、貼り合わせ部分に隙間がないように貼り合わせてください。隙間があるとエラーが発生する場合があります。

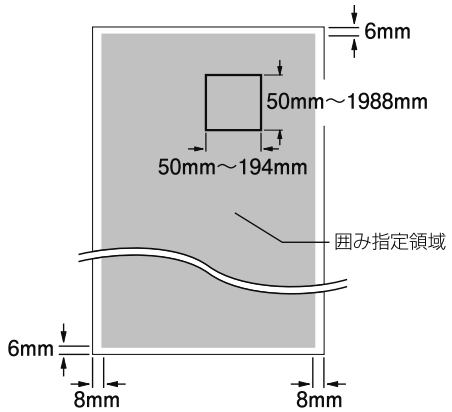
囲み指定エリアと拡大プリントの関係

囲み指定エリアの横幅が拡大プリント幅になります。プリント長はプリント幅の拡大率に応じて拡大されます。

例 X1:X2=Y1:Y2



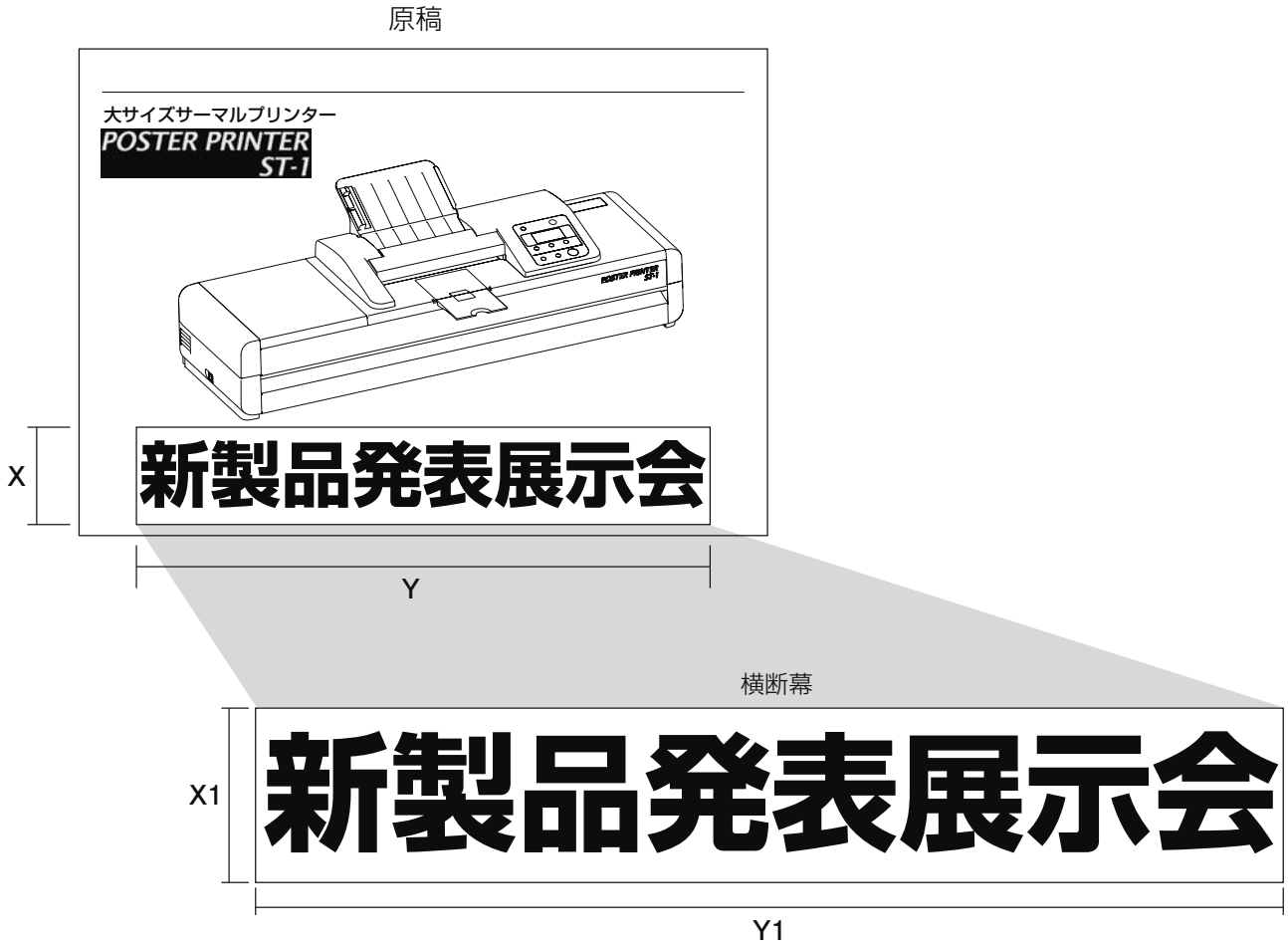
原稿上で部分拡大ができる領域



- 囲み線は文字の部分から 5mm 以上離してください。
- ペンの始点と終点を閉じてください。閉じない囲み方は囲み部分が認識されません。
- 読み取り可能な原稿サイズは最大、幅 210mm、長さ 2000mm です。
- 拡大シートの囲み領域は幅 50 ～ 194mm、長さ 50 ～ 1988mm です。

5

拡大プリント例



拡大シートサイズと仕上がりプリントサイズ算出手順

手順1. 拡大率を算出

記録紙の最大プリント幅（X 1）÷X（拡大シート幅）

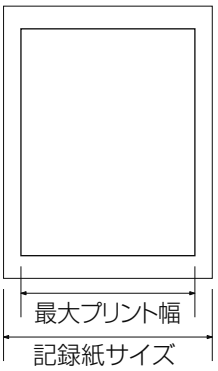
＝A（X→X 1 の拡大率）

記録紙の最大プリント幅は表 1 を参照してください。

手順2. 拡大シート長の算出

プリントしたい長さ（Y 1）÷ A（X→X 1 の拡大率）

＝Y（拡大シート長）



拡大シート作成例

原稿の「新製品発表展示会」の部分を使って A1 記録紙に長さ

3 mの横断幕を作成する場合の拡大シートの作成方法

手順1. 拡大率を算出

576 mm（A1 記録紙プリント幅）÷ 50mm（X）とした場合

＝約 11.5（拡大率）

手順2. 拡大シート長の算出

3 m（Y 1）÷ 11.5（拡大率）＝ 260 mm（Y：拡大シート長）

記録紙サイズ	最大プリント幅
A2	402
A1	576
B1	710
915	897

＊表値は標準的な数値です。

拡大シートの送り、原稿の送り、記録紙の送りなどにより変動します。

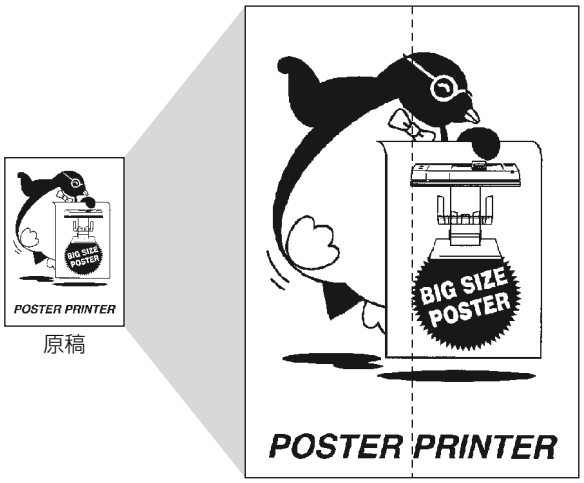
分割プリント

1 枚の原稿を 2 回に分けてプリントして、より大きくプリントすることを「分割プリント」といいます。
A1 記録紙では A0 × 2, B1 記録紙では B0 サイズが分割プリントです。

分割プリントでの注意点

● マルチプリントはできません。

A1 サイズの記録紙を使って、A0 × 2 サイズにプリントする場合



1 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

```
感熱紙      17M
黒         普通
A 1        自動
標準         01
```

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

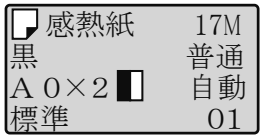
2 **［モード］ボタンを押して、プリントモードを設定します。**

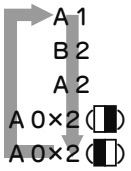
```
感熱紙      17M
黒         普通
A 1        自動
標準         01
```

プリントモードを設定します。

3 拡大サイズをＡ０×２(▌)（左半分）に設定します。

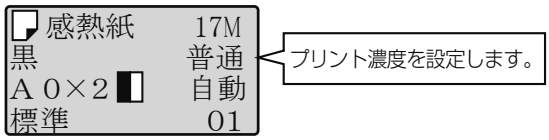
→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。

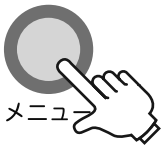




4 必要に応じてプリント濃度を設定します。

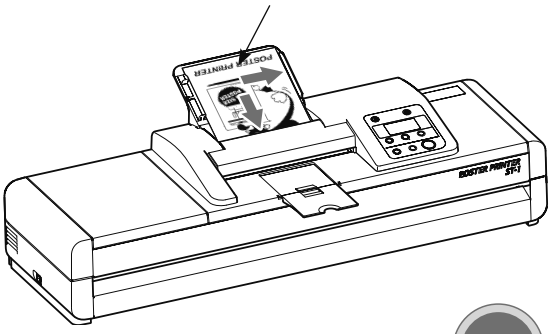
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。





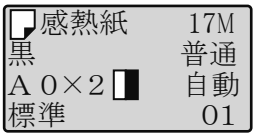
5 原稿をセットして、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

文字や絵を上にし、右側の原稿ガイドに寄せ、確実に奥まで差し込みます。原稿のセットが悪いと画像がズレます。



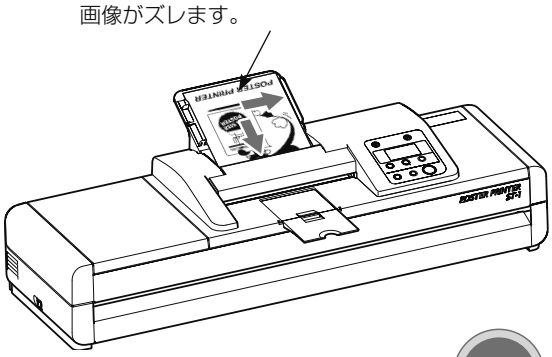
6 原稿の左半分がプリントされます。

プリント後カットします。
プリントが終わるとメッセージ表示部の拡大表示は、Ａ０×２(▐)（右半分）に自動的に切り替わります。

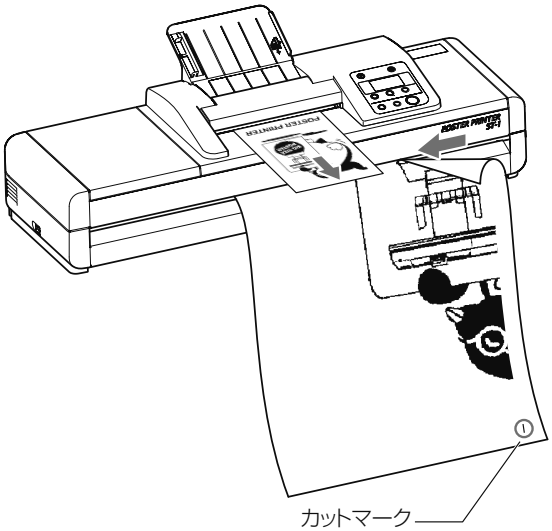


7 再度、同じ方向に原稿をセットして、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

文字や絵を上にし、右側の原稿ガイドに寄せ、確実に奥まで差し込みます。原稿のセットが悪いと画像がズレます。



8 **原稿の右半分がプリントされます。**
プリント後カットします。



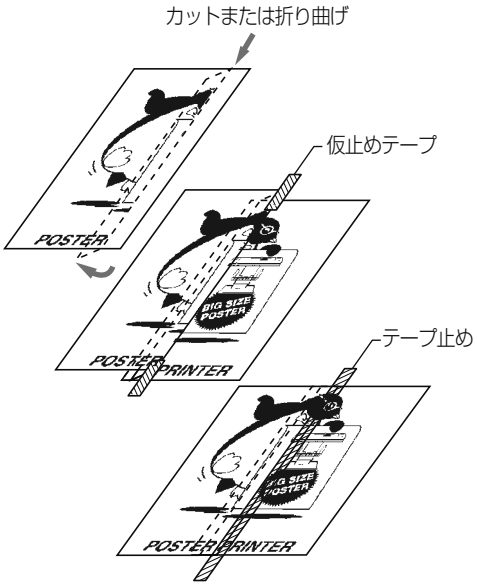
分割プリントをする場合は、自動的にカットマークが印字されます。

9 **2 枚の分割プリントを貼り合わせます。**

原稿の右半分のみプリントしたい場合は、拡大サイズをＡ０×２(◧)(右半分)に合わせて［スタート / ストップ］ボタンを押します。
→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。

貼り合わせ参考例

1. 片方のプリントのカットマーク２ケ所に合わせて、余白部分をカットまたは折り曲げます。
2. カットした側のプリントをもう片側のプリントのカットマークに合わせ、画像をつなげます。
   重ね合わせた両端をテープで仮止めします。
3. 仮止めテープの上から長めのテープを貼り、不要なテープは後で処理します。



- 貼り合わせテープの種類によっては、画像が変色したり、うすくなることがあります。
- カットマークはカット時の目安となるものです。
- 左右の画像合わせが若干ズレる場合がありますが、その場合は画像を主体に合わせてください。

5

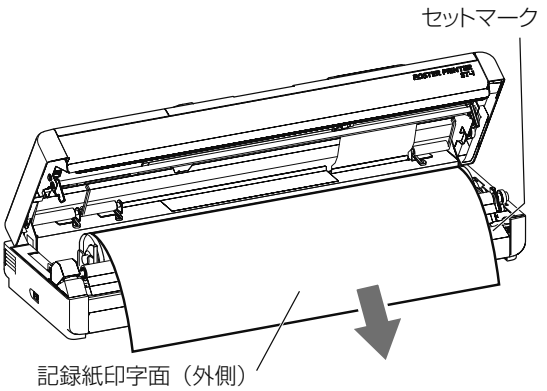
記録紙より小さくプリント

記録紙幅より小さいサイズのプリントをする場合の操作です。

915mm サイズの記録紙を使って、A1 サイズにプリントする場合

1 **915mm サイズの記録紙をセットします。**

→ P19,「記録紙をセット」を参照。



915mm 記録紙をセットする場合は、フランジガイドユニットを 915 サイズの位置にセットします。

2 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

```
感熱紙      17M
黒          普通
915         自動
標準          01
```

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

3 **［モード］ボタンでプリントモードを設定します。**

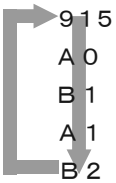
```
感熱紙      17M
黒          普通
915         自動
標準          01
```

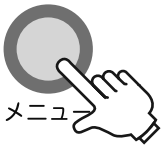
プリントモードを設定します。

4 **拡大サイズを A1 に設定します。**

```
拡大サイズ
A 1
 ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ→設定
 決定ﾎﾞﾀﾝ→確定
```

拡大サイズを設定します。



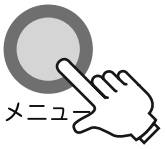


5 **必要に応じてプリント濃度を設定します。**

→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。

```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

プリント濃度を設定します。

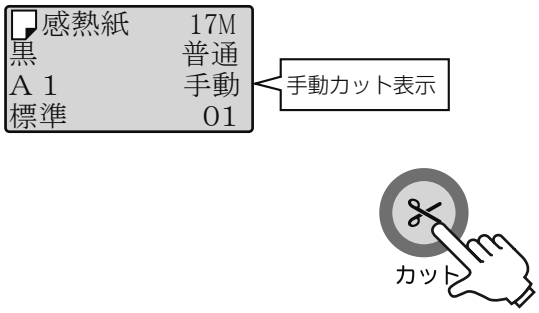


6 原稿をセットして、［スタート / ストップ］ボタンを押して、プリントします。

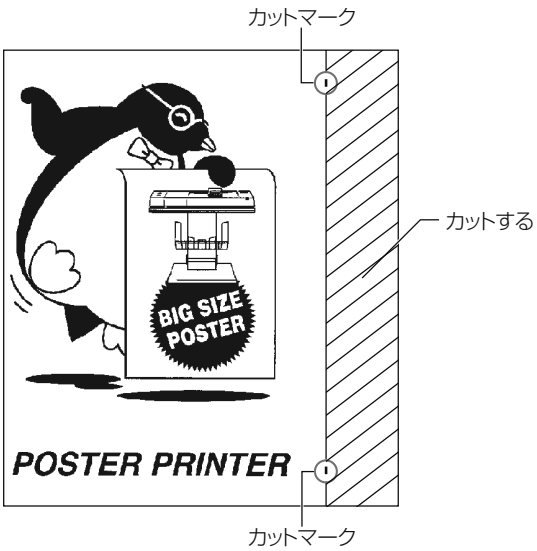
7 プリント終了後、記録紙が自動でカットされます。

手動カット設定の場合は、［カット］ボタンを押してカットしてください。

→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



8 カットマークに合わせてカットします。



長尺原稿からのプリント

長尺原稿から、簡単操作で長尺プリントができます。プリント手順は、基本手順と同一です。

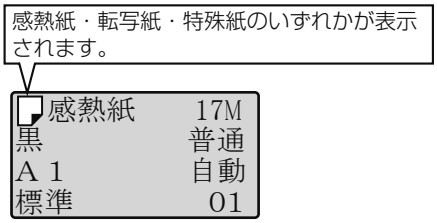
長尺原稿からのプリントでの注意点

- 原稿が長すぎて、読み取り中に「メモリーオーバー」エラーが発生した場合は、［クリア］ボタンを押してください。読み取りデータは捨てられ、初期画面に戻ります。「メモリーオーバー」の発生しない範囲（長尺サイズは 2000mm 以下）でお使いください。
- 反転モードプリントで長尺原稿からの印字を行う場合、原稿サイズは A4 を縦方向に 2 枚貼り合わせたサイズより小さくしてください。サーマルヘッドの温度が高温になり過ぎると印字中止になる場合があります。

→ P29,「反転モードプリント」を参照。

1 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

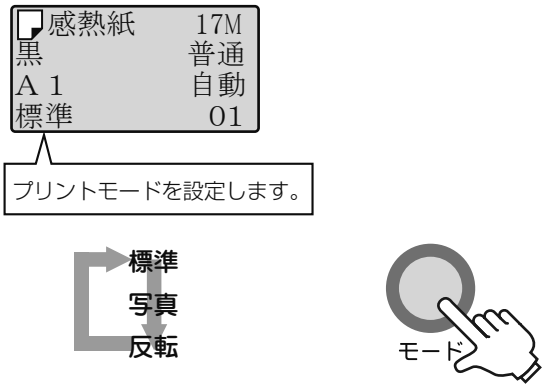
本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。



専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

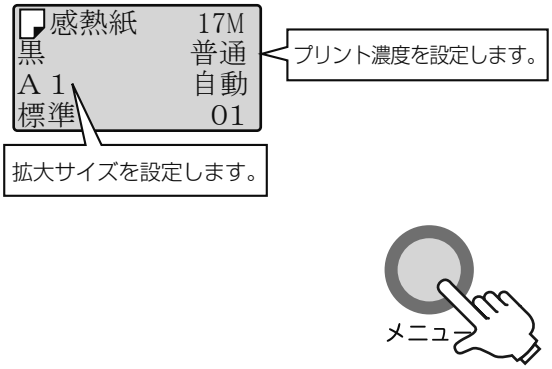
→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

2 **必要に応じて［モード］ボタンを押して、プリントモードを設定します。**



3 **必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。**

→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。

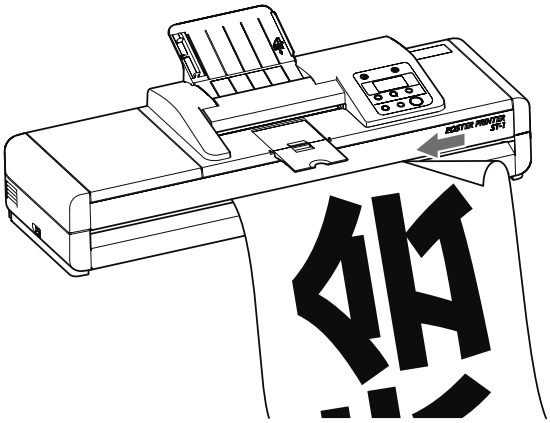


4 原稿をセットして、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

注意

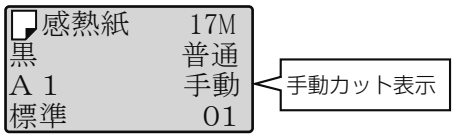
長尺サイズプリントの場合、特に原稿が斜めに入らないように注意しながら、奥に原稿が突き当たるまで差し込み、［スタート / ストップ］ボタンを押します。

5 プリント終了後、記録紙が自動でカットされます。



手動カット設定の場合は、［カット］ボタンを押してカットしてください。

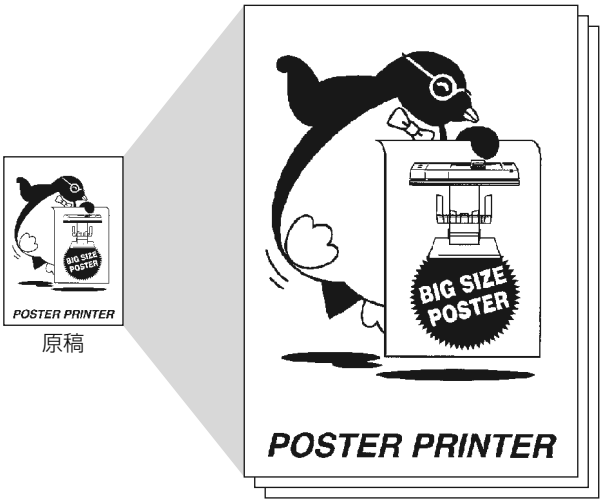
→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



5

マルチプリント

1 枚の A4 原稿に対して最大 99 枚までのマルチプリント設定ができます。
原稿を読み終えてから設定枚数分の印字が開始されます。



5

1 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

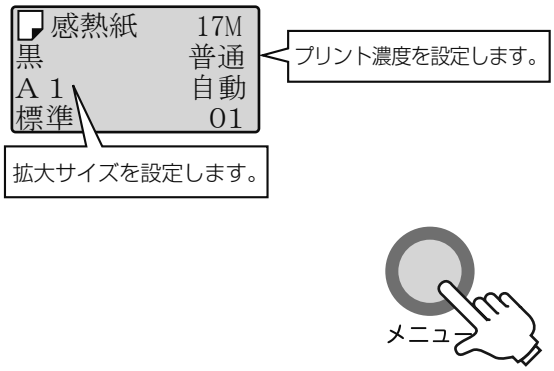
2 **必要に応じて［モード］ボタンを押して、プリントモードを設定します。**

```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

プリントモードを設定します。

3 必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。

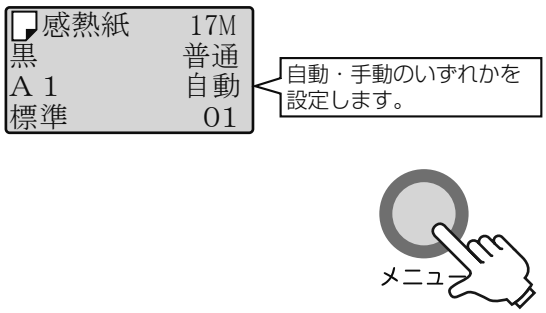
→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。



4 記録紙のカット方法を設定します。

「記録紙カットの設定」で自動カットまたは手動カットのいずれかを設定します。

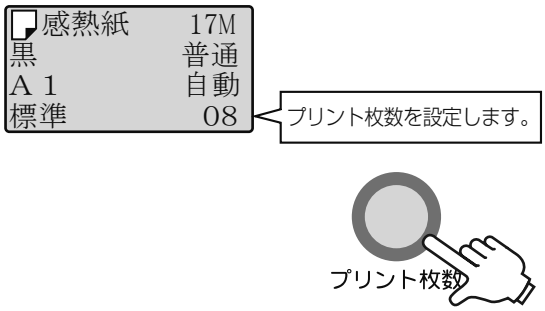
→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



自動カット設定の場合：
1 枚毎にプリント終了後、自動的にカットします。
手動カット設定の場合：
設定した枚数を連続でプリントします。

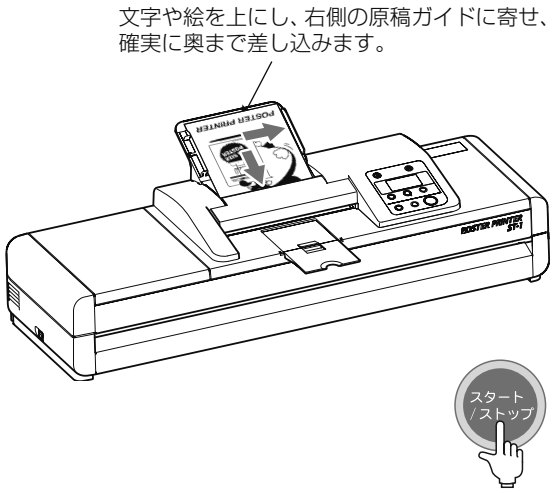
5 ［プリント枚数］ボタンを押して、枚数を設定します。

［プリント枚数］ボタンを押す毎に 1 カウントアップします。



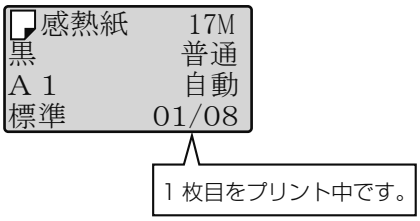
注意
枚数入力を誤った場合は、［クリア］ボタンを押して、再度、プリント枚数を設定してください。

6 原稿をセットし、［スタート／ストップ］ボタンを押します。

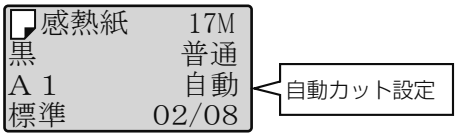


注意
マルチプリント可能な原稿は A4 サイズ並びに長尺の原稿です。

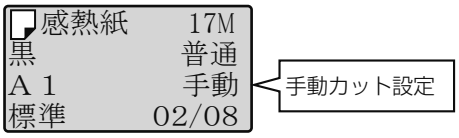
7 **1 枚目をプリントします。**



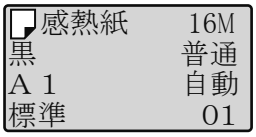
8 **記録紙カットを自動カットに設定している場合は：**
1 枚目のプリントをカットし、2 枚目以降のプリントをスタートします。



記録紙カットを手動カットに設定している場合は：
記録紙のカットは行なわず、設定した枚数を連続してプリントします。



プリント終了後は初期画面に戻ります。



注意

- **原稿読み取り中に「メモリーオーバー」エラーが発生した場合は、［クリア］ボタンを押してください。読み取りデータは消去され、初期画面に戻ります。**
- **プリント中にエラー表示（「記録紙なし」、「プリンターカバーが開いています」等）した場合は、プリントが停止します。エラー解除後に［スタート / ストップ］ボタンを押してプリントを再開した場合は、停止した枚数の先頭部分からプリントを開始します。**

マルチプリント機能での取り扱い注意

① 印字途中に「記録紙なし」が表示されたときは、プリンターカバーを開けて新しい記録紙をセットし、プリンターカバーを閉め、［スタート / ストップ］ボタンを押します。停止した枚数の先頭からプリントを開始します。
プリントを中止する場合は［クリア］ボタンを押します。

② マルチプリントができる原稿は A4 サイズ並びに長尺の原稿です。ただし、A4 サイズの原稿でも分割プリントではマルチプリントはできません。

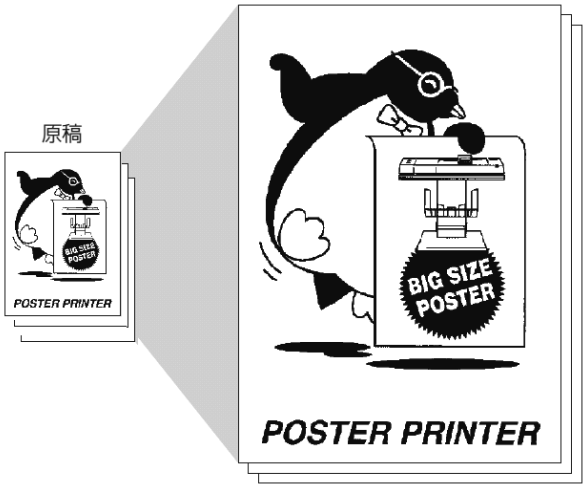
③ マルチプリント中に［スタート / ストップ］ボタンを押すと、プリントを中止し、プリント枚数の設定はクリアされます。

原稿メモリープリント

2 枚以上の原稿を続けて読み取りメモリーしておき、メモリーされた原稿を順にプリントしていきます。
マルチプリント機能を使い、各原稿を 99 枚までプリントすることもできます。
なお、分割プリントでは、原稿メモリープリント機能は使用できません。

原稿メモリープリントでの注意点

- 原稿メモリープリントで、原稿を読み込む際は、1 枚ずつスキャナにセットして読み込んでください。原稿を重ねての読み込みはできません。
- 読み込みできる原稿の枚数は、A4 原稿約 8 枚です。長尺原稿は 2000mm を越えないようにしてください。メモリーオーバーとなりエラーの原因になります。
- 各原稿毎の枚数指定（マルチプリント）はできません。



1 **記録紙の種類が表示されていることを確認します。**

本体にセットされている記録紙の種類（「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」）が自動的に表示されます。

感熱紙・転写紙・特殊紙のいずれかが表示されます。

```
感熱紙      17M
黒         普通
A 1        自動
標準         01
```

専用記録紙以外の記録紙を使用した場合は、記録紙をセットし電源スイッチを入れると、「記録紙を検出できません」が表示されます。この場合は、用紙設定を手動で設定してください。

→ P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」を参照。

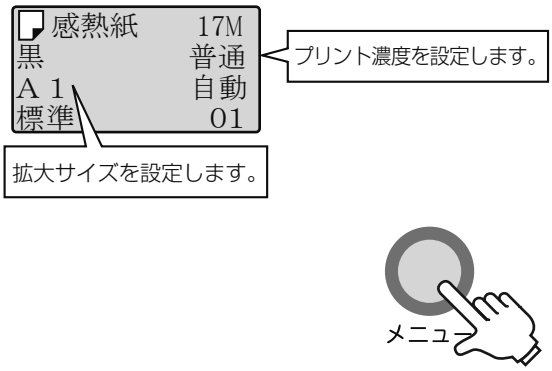
2 **［モード］ボタンを押して、プリントモードを設定します。**

```
感熱紙      17M
黒         普通
A 1        自動
標準         01
```

プリントモードを設定します。

3 **必要に応じて拡大サイズ、プリント濃度を設定します。**

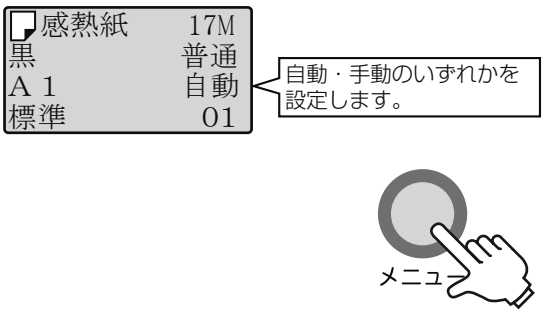
→ P53,「拡大サイズの設定」を参照。
→ P54,「プリント濃度の設定」を参照。



4 **記録紙のカット方法を設定します。**

「記録紙カットの設定」で自動カットまたは手動カットのいずれかを設定します。

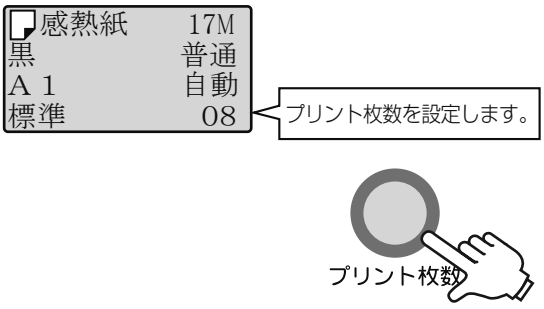
→ P56,「記録紙カットの設定」を参照。



自動カット設定の場合：
1 枚毎にプリント終了後、自動的にカットします。
手動カット設定の場合：
連続でプリントします。

5 **マルチプリントを行いたいときは、［プリント枚数］ボタンを押して、枚数を設定します。**

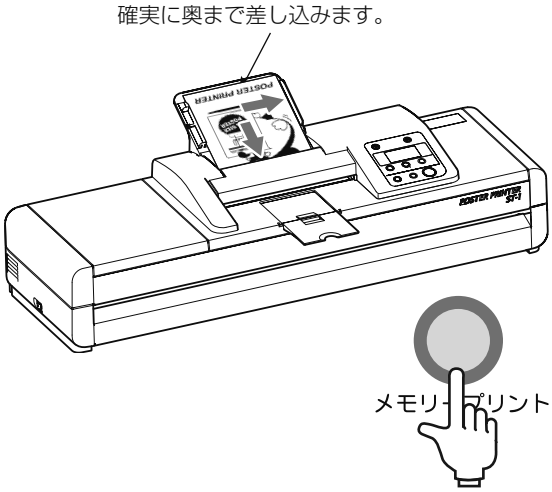
［プリント枚数］ボタンを押す毎に 1 カウントアップします。



注意

枚数入力を誤った場合は、［クリア］ボタンを押して、再度、プリント枚数を設定してください。

6 **原稿をセットし、［メモリープリント］ボタンを押します。**



7 **原稿が読み取られ、メモリープリント読み取り画面が表示されます。**

原稿読み取り中

01

⇩

メモリープリント読み取り画面

感熱紙　17M
メモリープリント→読取
スタートボタン→プリント
クリアボタン→中止

---

8 **次の原稿について、手順 6 ～ 7 を繰り返します。**

メモリーした原稿データ全体のクリア：
メモリーした原稿データをクリアしたい場合は、［クリア］ボタンを押します。
「読み取りデータクリア中」が表示され、約 2 秒後に初期画面に戻ります。

メモリー中の原稿単位のクリア：
メモリー中の原稿データだけをクリアしたい場合は、「読み取りデータ中」表示中に［スタート / ストップ］ボタンを押します。
読み取り中の原稿はキャンセルされます。既に読み込んだ原稿データは有効です。
読み込み済みの原稿をプリントするときは、次の手順に進んでください。
さらに新しい原稿を読み込む場合は、手順 6 ～ 7 を繰り返してください。

9 **原稿読み取り完了後、［スタート / ストップ］ボタンを押します。**

メモリーされた内容を連続してプリントし、プリント終了後、初期画面に戻ります。
枚数「01-01/02」は、原稿 1 枚目、マルチプリント計 2 枚中 1 枚目を表しています（マルチプリント機能を使用した例）。

感熱紙　17M
黒　普通
A 1　自動
標準　01-01/02

感熱紙　17M
黒　普通
A 1　自動
標準　02-02/02

感熱紙　16M
黒　普通
A 1　自動
標準　01

メモリープリント完了

プリントの停止：
途中でプリントを停止したい場合は、［スタート / ストップ］ボタンを押します。
「読み取りデータクリア中」が表示され、約 2 秒後に初期画面に戻ります。

読み取りデータ
クリア中

感熱紙　17M
黒　普通
A 1　自動
標準　01

5

原稿メモリープリント機能での取り扱い注意

① 原稿枚数が多いまたは長尺の原稿が含まれるために、原稿読み取り中に「メモリーオーバー」エラーが発生した場合は、［クリア］ボタンを押してください。
読み取り中の原稿が 1 枚目であった場合は、読み取りデータは捨てられ、初期画面に戻ります。
読み取り中の原稿が 2 枚目以降の原稿であった場合は、読み取り中のデータは捨てられますが、それ以前に読み取った原稿データはメモリーされています。［スタート / ストップ］ボタンを押して、メモリーされている原稿データをプリントすることができます。

② 印字途中に「記録紙なし」が表示されたときは、プリンターカバーを開けて新しい記録紙をセットし、プリンターカバーを閉め、［スタート / ストップ］ボタンを押します。停止した枚数の先頭からプリントを開始します。
プリントを中止する場合は［クリア］ボタンを押します。

③ 原稿メモリープリントは分割プリント機能に使用できません。

④ 原稿メモリープリント中に［スタート / ストップ］ボタンを押すと、プリントを中止します。

6 機能設定モード

機能設定は印字機能の設定や印字条件の設定を行なうことができます。

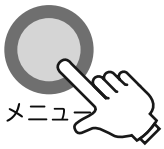
表示項目	機能設定項目	設定内容	参照ページ
拡大サイズ	拡大サイズの設定	プリントの拡大サイズを設定します。	P53
プリント濃度	プリント濃度の設定	原稿の濃淡に合わせてプリント濃度を設定します。	P54
部分拡大	部分拡大機能の設定	原稿の一部分を拡大印字する機能を設定します。	P55
カット選択	記録紙カットの設定	印字終了後の記録紙カット方法を設定します。	P56
条件設定モード	条件設定方法	印字機能の設定、印字調整を行ないます。	P63
テストプリント	テストパターンの印字	2 種類のテストパターンを印字できます。	P65
ネットワーク設定	ネットワークの設定	ネットワークを設定します。	P59
長さ表示	長さの単位設定	記録紙残量表示の単位を Meter (M) または Feet (FT) に設定します。	P58
ー	オールリセット	上記の各設定値を初期値に戻します。	P66

機能設定項目の選択方法

機能設定を行なう場合は、記録紙をセットしてください。
設定を間違った場合は［クリア］ボタンを押して再度設定してください。
※設定値のうち､「拡大サイズ」「プリント濃度」「部分拡大」は電源を切ると初期値に戻ります。その他の設定値は、電源を切っても保持されます。

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを押します。**

感熱紙　17M
黒　普通
A 1　自動
標準　01



2 **「機能設定モード」が起動し、拡大サイズ設定画面を表示します。**

拡大サイズ設定画面

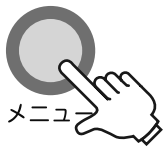
拡大サイズ
決定ﾎﾞﾀﾝ→
設定開始
ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る

3 **［メニュー］ボタンを押して、「機能設定項目」を選択します。**

例：プリント濃度設定を選択

ﾌﾟﾘﾝﾄ濃度
決定ﾎﾞﾀﾝ→
設定開始
ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る

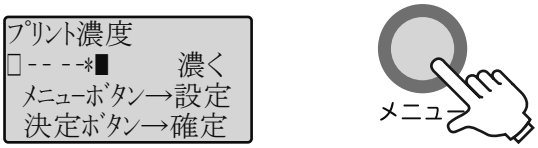
拡大サイズ
プリント濃度
部分拡大
カット選択
条件設定モード
テストプリント
ネットワーク設定
長さ表示



4 **［決定 / フィード］ボタンを押して、設定項目を選択します。**

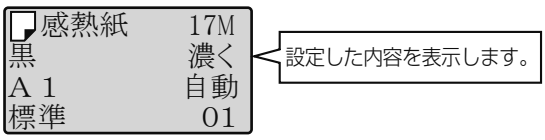
ﾌﾟﾘﾝﾄ濃度
--*--　普通
ﾒﾆｭｰﾎﾞﾀﾝ→設定
決定ﾎﾞﾀﾝ→確定

5 ［メニュー］ボタンを押して設定項目画面の選択肢を選択します。



6 ［決定 / フィード］ボタンを押して設定内容をメモリーします。

7 ［クリア］ボタンを押して初期画面に戻ります。



8 各機能の設定詳細は、下記をご参照ください。

拡大サイズ ➤ P53, 拡大サイズの設定
プリント設定濃度 ➤ P54, プリント設定濃度の設定
部分拡大 ➤ P55, 部分拡大機能の設定
カット選択 ➤ P56, 記録紙カットの設定
条件設定モード ➤ P63, 条件設定方法
テストプリント ➤ P65, テストプリント
ネットワーク設定 ➤ P59, ネットワークの設定
長さ表示 ➤ P58, 長さ表示の設定

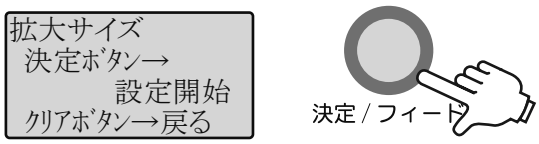
拡大サイズの設定

プリントの拡大サイズを設定します。
記録紙のサイズにより、拡大サイズの設定が異なります。

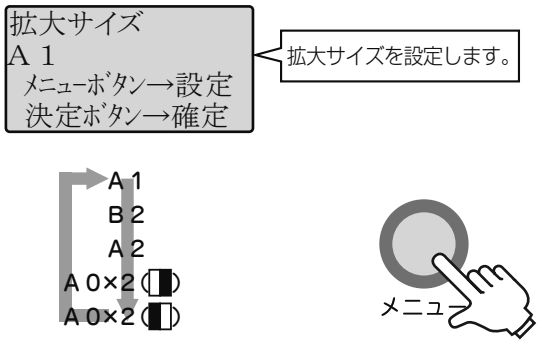
記録紙のサイズ	拡大サイズ
A2	A2 → B3
A1	A1 → B2 → A2 → A0 × 2 (▮) → A0 × 2 (▮)
B1	B1 → A1 → B2 → A2 → B0 (▮) → B0 (▮)
915	915 → A0 → B1 → A1 → B2

1 **初期画面で、[メニュー] ボタンを 1 回押します。**

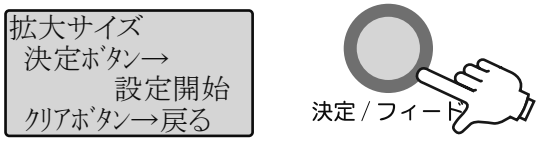
2 **拡大サイズ設定画面を表示します。**
[決定 / フィード] ボタンを押します。



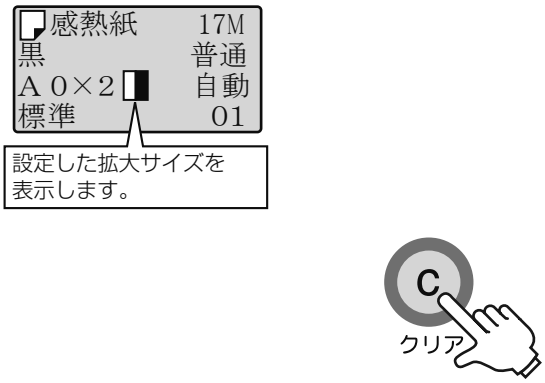
3 **拡大サイズ選択画面を表示します。**
[メニュー] ボタンを押して、拡大サイズを選択します。



4 **[決定 / フィード] ボタンを押します。**
拡大サイズ設定画面に戻り、設定内容がメモリーされます。



5 **[クリア] ボタンを押して、初期画面に戻ります。**



6

プリント濃度の設定

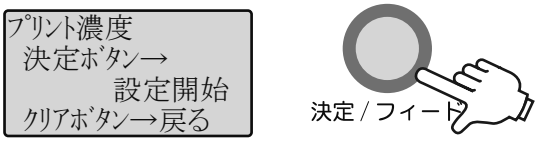
原稿に対してプリント濃度を 5 段階で設定できます。

プリント濃度設定	LCD 表示部
薄く	□＊－－－－■
やや薄く	□－＊－－－■
普通	□－－＊－－■
やや濃く	□－－－＊－■
濃く	□－－－－＊■

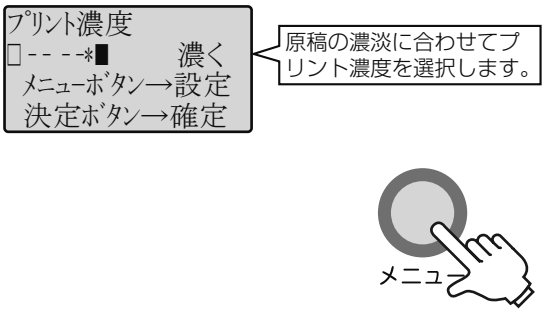
□：濃い原稿を薄目にプリント
■：淡い原稿を濃目にプリント

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 2 回押します。**

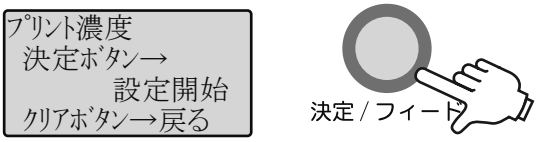
2 **プリント濃度設定画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



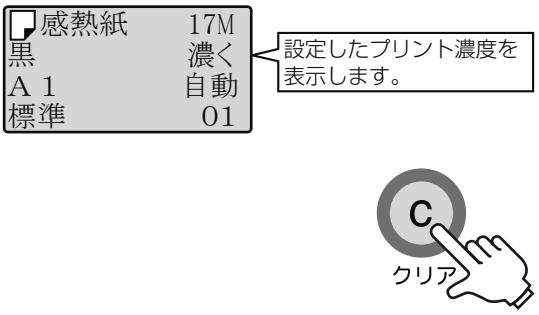
3 **プリント濃度選択画面を表示します。**
［メニュー］ボタンを押してプリント濃度を選択します。選択した濃さを右側に文字で示します。



4 **［決定 / フィード］ボタンを押します。**
プリント濃度設定画面に戻り、設定内容がメモリーされます。



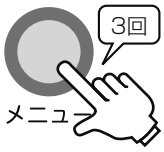
5 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**



部分拡大機能の設定

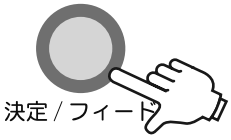
1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 3 回押します。**

感熱紙　17M
黒　普通
A 1　自動
標準　01



2 **部分拡大機能の画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。

部分拡大
決定ﾎﾞﾀﾝ→
設定開始
ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る



拡大シート読み取り画面を表示します。

感熱紙　17M
拡大ｼｰﾄ→ｽﾀｰﾄ
A 1　自動
標準

3 **拡大シートを作成し、［スタート / ストップ］ボタンを押して、拡大シートを読み取ります。**
→ P34,「拡大シートの作り方」を参照。

拡大シート読み取り画面

拡大シートデータ
読み取り中

4 **拡大シート読み取り後、原稿読み取り画面を表示します。**
→ P31,「部分拡大プリント」を参照。

原稿読み取り画面

感熱紙　17M
原稿→ｽﾀｰﾄ
A 1　自動
標準

5 **原稿をセットし、［スタート / ストップ］ボタンを押して、プリントを開始します。**

感熱紙　17M
原稿→ｽﾀｰﾄ
A 1　自動
標準

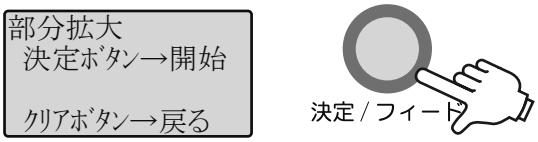
6

記録紙カットの設定

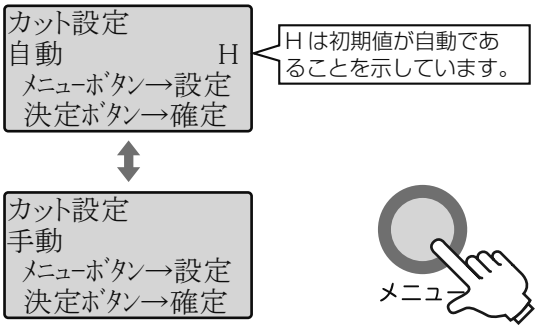
プリント終了後のカッター動作を自動カット、手動カットのいずれかに設定します。

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 4 回押します。**

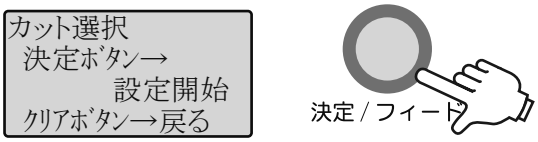
2 **記録紙カット設定画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



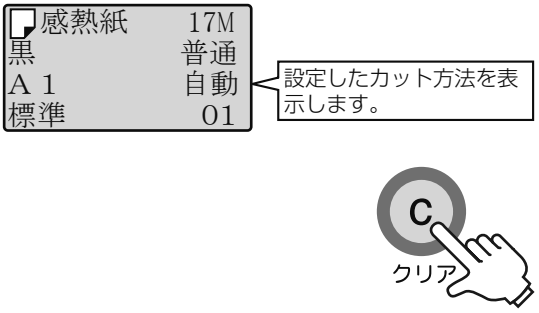
3 **カット選択画面を表示します。**
［メニュー］ボタンを押して、「自動」または「手動」を選択します。



4 **［決定 / フィード］ボタンを押します。**
カット設定画面に戻り、設定内容がメモリーされます。

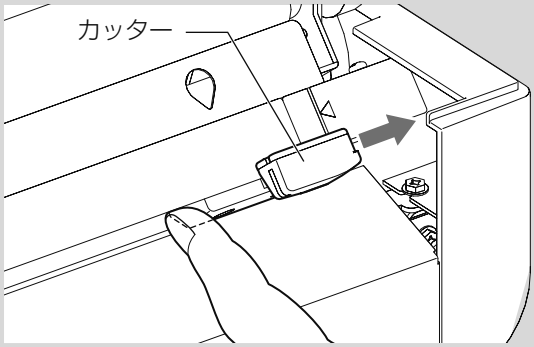


5 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**



注意

- **プリント開始前にカッターが右端に突き当たる位置にあることを確認してください。**
- **エラー表示「カッター位置異常です。カッターを右にもどす」が表示された場合は、プリンターカバーを開け、カッターの左側面（下図参照）を押して、右端に突き当たるまで移動してください。**



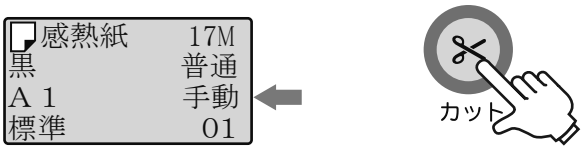
- **カッター動作中にカット不良などで停止した場合は、プリンターカバーを開け、カッターの左側面を押して、右端に突き当たるまで移動してください。**
- **カッター動作中はカッター移動部分に指や異物を置かないでください。けがや故障の原因になります。**

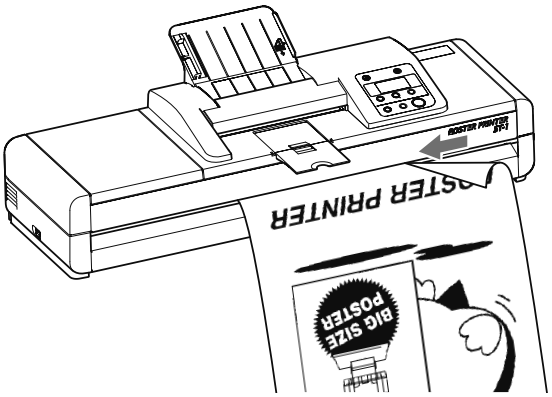
6

用紙の手動カットと自動カット

■手動カット

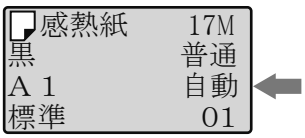
プリント終了後、用紙はカットされません。
［カット］ボタンを押して、記録紙をカットします。





■自動カット

プリント終了後、自動で記録紙をカットします。



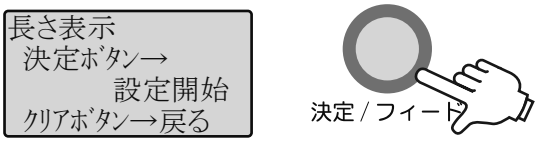
6

長さ表示の設定

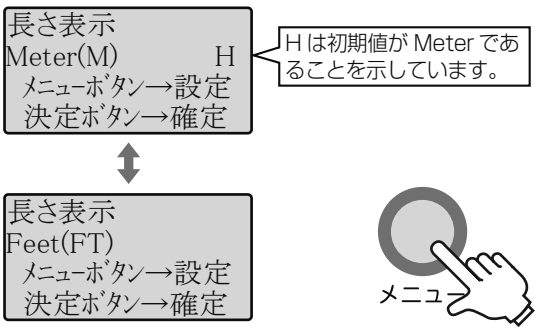
記録紙残量表示の長さの単位をメートル、フィートのいずれかに設定します。

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 8 回押します。**

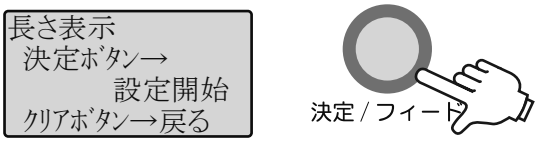
2 **長さ表示設定画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



3 **長さ表示選択画面を表示します。**
［メニュー］ボタンを押して、「Meter(M)」または「Feet(FT)」を選択します。



4 **［決定 / フィード］ボタンを押します。**
長さ表示設定画面に戻り、設定内容がメモリーされます。



5 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**

ネットワークの設定

ST-1 は、LAN でネットワークプリンタとして共有できます。
ネットワークの設定は、自動設定と手動（マニュアル）設定が行なえます。
設定後は電源を切ってください。設定値が記憶されます。
工場出荷時は自動設定になっています。

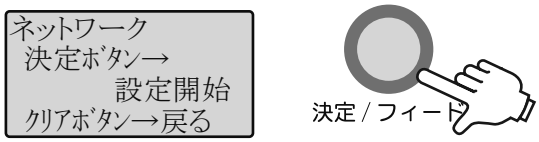
ここでの手順は、プリンタドライバがインストールされていることを前提に説明しています。
→「POSTER PRINTER ST-1 プリンタドライバ取扱説明書」参照。
プリンタドライバは、下記サイトでもダウンロードいただけます。
エム・ビー・エス株式会社 HP
http://mbsnet.co.jp

1. 自動設定 ※（DHCP サーバがある場合）

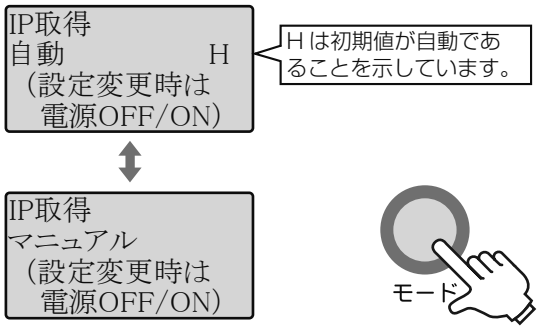
※ DHCP：自動的に IP アドレスを割り振る機能

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 7 回押します。**

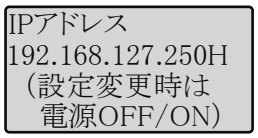
2 **ネットワークセットアップ画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



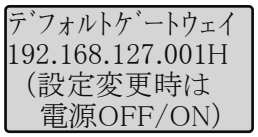
3 **ネットワーク自動 / 手動設定画面を表示します。**
［モード］ボタンを押して、「自動」を選択します。
［決定 / フィード］ボタンを押します。



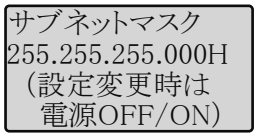
4 **「IP アドレス」を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



5 **「デフォルトゲートウェイ」を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



6 **「サブネットマスク」を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



6

7 **「MAC アドレス」を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。

```
MACアドレス
000109 A1232F
```

8 **ネットワーク自動設定画面に戻ります。**
［メニュー］ボタンを押します。

```
IP取得
マニュアル
 (設定変更時は
  電源OFF/ON)
```

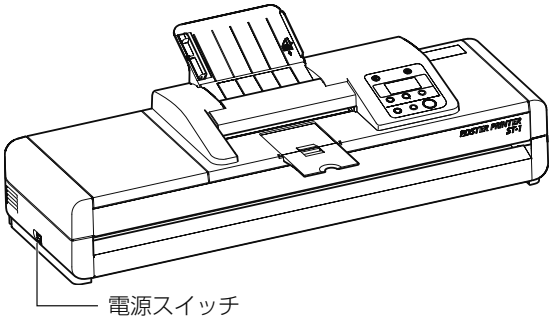
9 **ネットワークセットアップ画面に戻り、設定内容がメモリーされます。**

```
ネットワーク
 決定ﾎﾞﾀﾝ→
          設定開始
 ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る
```

10 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**

```
感熱紙      17M
黒         普通
A 1        自動
標準         01
```

11 **電源を切ります。**
設定後は必ず電源を切ってください。
電源を OFF/ON することで、ネットワークが設定されます。



注意
●DHCP 環境について不明な場合は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

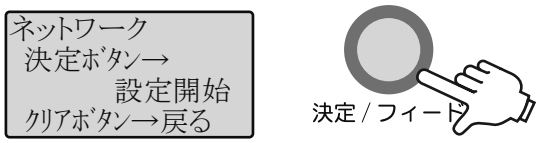
6

2. 手動設定（マニュアル）

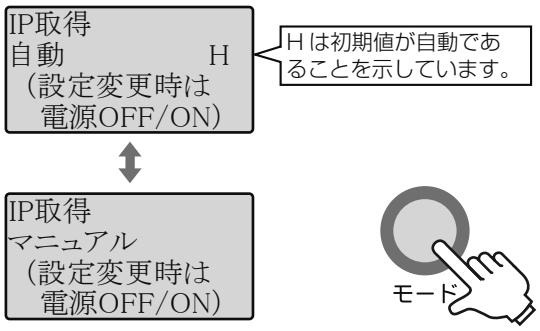
手動設定を行なうのは、DHCP サーバがない場合、固定 IP アドレスで使用する場合に手動設定を行ないます。

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 7 回押します。**

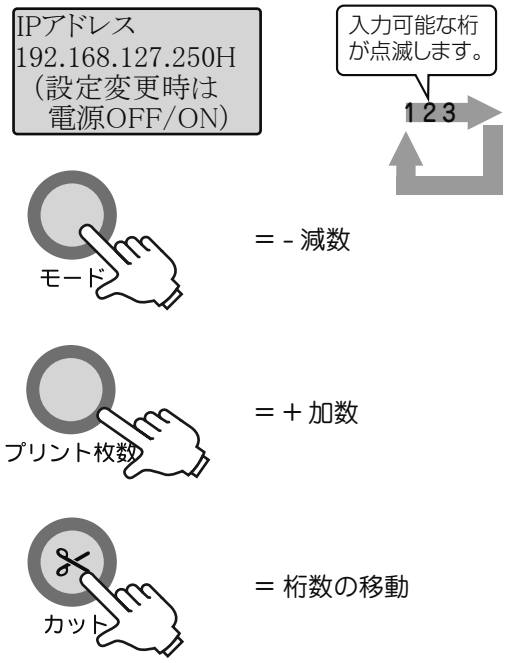
2 **ネットワークセットアップ画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



3 **ネットワーク自動 / 手動設定画面を表示します。**
［モード］ボタンを押して、「マニュアル」を選択します。
［決定 / フィード］ボタンを押します。

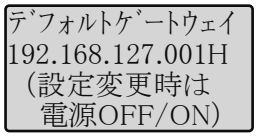


4 **「IP アドレス」入力画面を表示します。**
IP アドレスの数値を入力します。
［決定 / フィード］ボタンを押します。



※設定値が異常のときは、「設定した値は異常です」が 2 秒間表示されます。

5 **「デフォルトゲートウェイ」入力画面を表示します。**
デフォルトゲートウェイ数値を入力し（手順 4 参照）、［決定 / フィード］ボタンを押します。



6 **「サブネットマスク」入力画面を表示します。**
サブネットマスク数値を入力し（手順 4 参照）、［決定 / フィード］ボタンを押します。

6

7 **「MAC アドレス」画面を表示します。**
MAC アドレスの数値入力はできません。
［決定 / フィード］ボタンを押します。

```
MACアドレス
000109 A1232F
```

8 **ネットワークマニュアル設定画面に戻ります。**
［メニュー］ボタンを押します。

```
IP取得
マニュアル
 (設定変更時は
  電源OFF/ON)
```

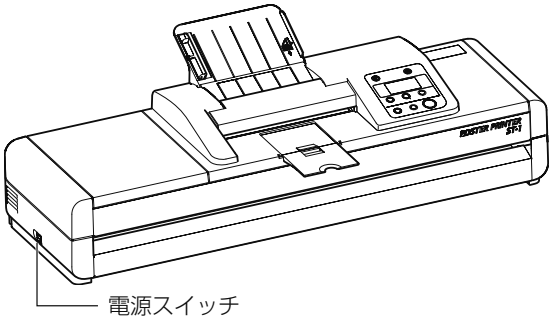
9 **ネットワークセットアップ画面に戻り、設定内容がメモリーされます。**

```
ネットワーク
 決定ﾎﾞﾀﾝ→
        設定開始
 ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る
```

10 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**

```
感熱紙      17M
黒          普通
A 1         自動
標準          01
```

11 **電源を切ります。**
設定後は必ず電源を切ってください。
電源を OFF/ON することで、ネットワークが設定されます。



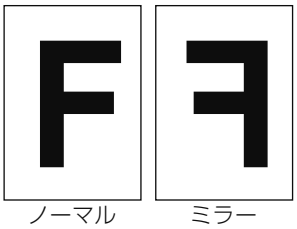
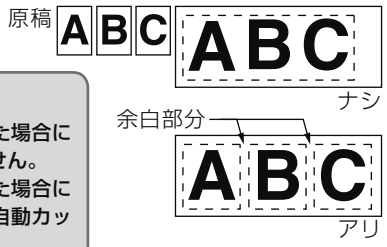
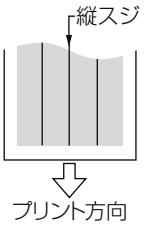
注意
●DHCP 環境について不明な場合は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

注意
●ネットワークの設定についての問い合わせは下記にご連絡ください。
サポートセンター：050-3786-1322
月曜日～金曜日
10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00
（土日祝日、夏季休暇、年末年始を除く）
●消耗品ならびに修理等のご用命は、お買い求め頂いたご販売店様へお問い合わせください。

条件設定モード

条件設定項目および内容

本体の条件設定項目を変更することにより、印字機能の変更や印字品質の調整を行なうことができます。

	設定項目／機能	LCD 表示内容
画像の向き	通常のプリントを鏡に写したイメージ（ミラー）でプリントされます。  ノーマル　ミラー	画像向き ノーマル　H **ノーマル** 正像でプリントします。（通常のプリント） **ミラー** 左右反転（鏡像）でプリントします。 初期値はノーマルに設定してあります。
ページ間ギャップ	複数のシート原稿から横断幕や懸垂幕を作成する場合に、ページ間にできる空白（ギャップ）を無くしたプリントができます。  **注意** ■ ページ間ギャップ無しを選択した場合には、カットマークは印字されません。 ■ ページ間ギャップ無しを選択した場合には、表示上自動になっていても自動カットしません。 プリント終了後、記録紙［フィード］ボタンを押して、記録紙を送ってから［カット］ボタンを押して、記録紙をカットしてください。	ページギャップ なし　H **なし** ページ間ギャップ無しでプリントします。 **あり** ページ間ギャップ有りでプリントします。 初期値は「あり」に設定してあります。
縦方向のスジの調整	プリント画像に縦方向のスジが目立つ場合に調整できます。 濃いめのスジが目立つ場合は、［モード］ボタンを押して値を減らすようにし、また白抜けしたようなスジが目立つ場合は、［プリント枚数］ボタンを押して値を増やすようにしてください。 ただし、本体の機構上、スジを完全に無くすことは難しい場合があることをご了承ください。  	縦すじ調整 0（−4〜+4）　H −4・・・+0・・・+4 最小値　中心値　最大値 9段階 初期値は「0」に設定してあります。
印字パワーの設定	サーマルヘッドに付加する印字パワーを±9段階で調整できます。［モード］ボタンが（−）、［プリント枚数］ボタンが（+）で、押すごとに1段階ずつ設定できます。	印字パワー 0　(−9〜+9)　H −9・・・+0・・・+9 最小(薄)　中心値　最大(濃) 19段階 初期値は「0」に設定してあります。

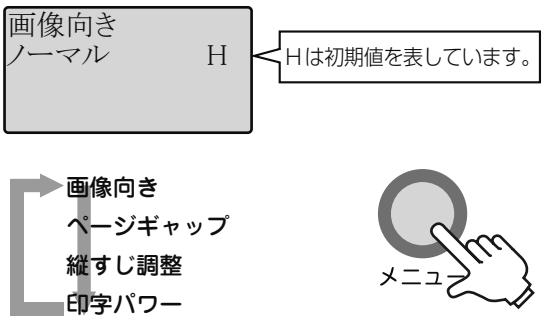
6

■ 条件設定方法

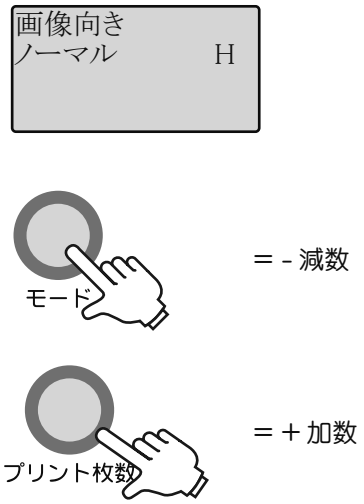
1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 5 回押します。**

2 **条件設定画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。

3 **条件設定画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押して、条件設定項目を選択します。

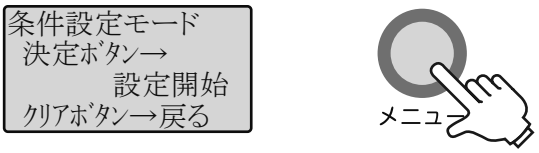


4 **各設定画面で、［モード］ボタンと［プリント枚数］ボタンを押して、設定内容および調整値を入力します。**



5 **他の条件設定を行なう場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返します。**

6 **条件設定後、［メニュー］ボタンを押します。**
条件設定画面を表示し、設定内容がメモリーされます。



7 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**

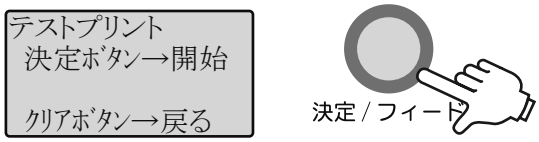
テストプリント

ST-1 本体の印字状態を確認するテストモードです。以下の 2 種類のテストパターンを印字することができます。
tp001, tp002 はテストパターンのコードです。

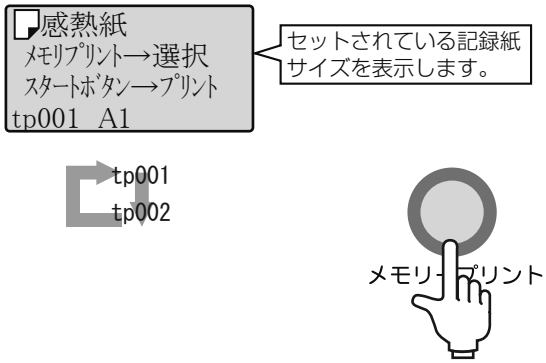
テストパターン（コード）	説　　明
ベタ印字（tp001）	黒ベタ印字を行います。 ただし、20cm 以上の印字はしないでください。 ヘッド汚れの原因になります。
印字位置パターン（tp002）	サーマルヘッドの位置パターンを印字します。

1 **初期画面で、［メニュー］ボタンを 6 回押します。**

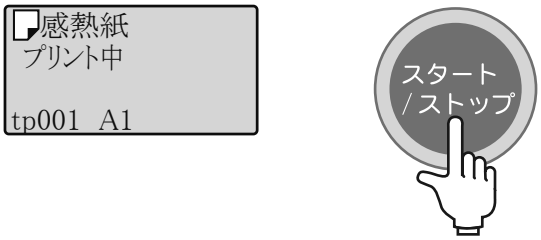
2 **テストプリント画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。



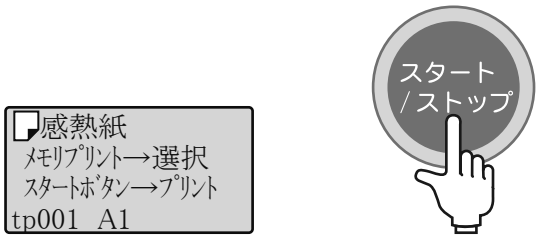
3 **テストプリントスタンバイ画面を表示します。**
［メモリープリント］ボタンを押して、テストパターンコードを選択します。



4 **［スタート / ストップ］ボタンを押します。**
選択したテストパターンを印字します。



5 **再度［スタート / ストップ］ボタンを押します。**
テストパターン印字を終了し、テストプリントスタンバイ画面に戻ります。



6 **他のテストパターンを印字する場合、手順 3 ～ 5 を繰り返します。**

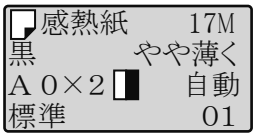
7 **［クリア］ボタンを押して、初期画面に戻ります。**

6

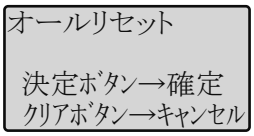
オールリセット

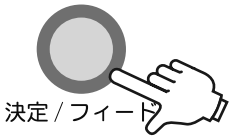
機能設定モードで設定した各種設定（ネットワーク設定は除く）を初期状態に戻すことができます。
以前の設定に復元できませんので注意してください。

1 **初期画面で、［クリア］ボタンを３秒以上押し続けます。**

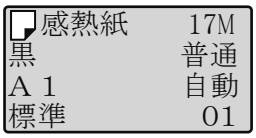


2 **オールリセット画面を表示します。**
［決定 / フィード］ボタンを押します。
※オールリセットをキャンセルする場合は、［クリア］ボタンを押し、元の画面に戻ります。





各種設定が初期状態に戻り、初期状態の初期画面に戻ります。



6

7 記録紙について

種類 / サイズ一覧

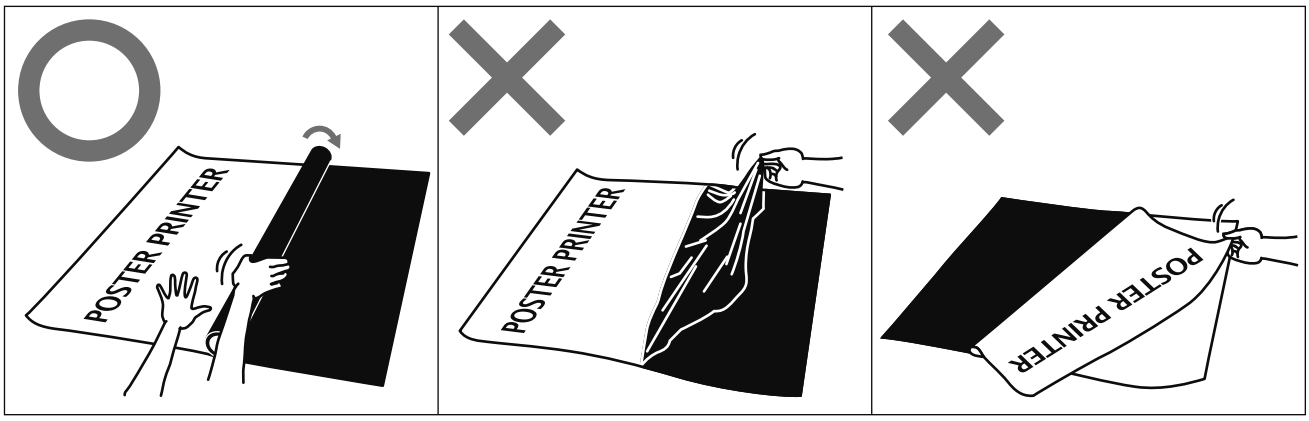
直接感熱紙・熱転写紙・高耐光感熱紙・高耐久感熱フィルムの 4 種類の記録紙が使用できます。

種類	色種		サイズ（ 記録紙幅× 長さ）			
	地色（紙の色）*1	発色 *2	915	B1	A1	A2
直接感熱紙	白	黒	915mm × 60m	728mm × 60m	594mm × 60m	420mm × 60m
		青				
熱転写紙	白	黒	915mm × 26m		594mm × 26m	
		青				
		赤				
高耐光感熱紙	白	黒	915mm × 60m		594mm × 60m	
高耐久感熱フィルム	白	黒	915mm × 40m		594mm × 40m	

*1　地色とは、紙の色のことです。
*2　発色とは、プリント時に熱を加えることによって現れる色のことをいいます。
※上記一覧表は 2017 年 9 月のものです。

転写紙のインクフィルムのはがし方

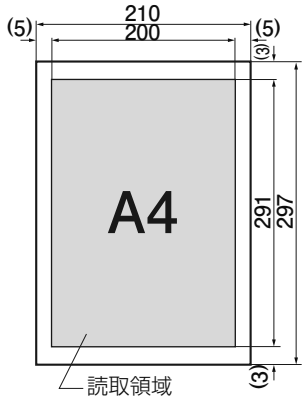
プリント済みの熱転写紙を、机の上などの平らな場所で紙を押えながら、記録紙の筒などでインクフィルムを水平方向に巻き取って、ゆっくりはがしてください。

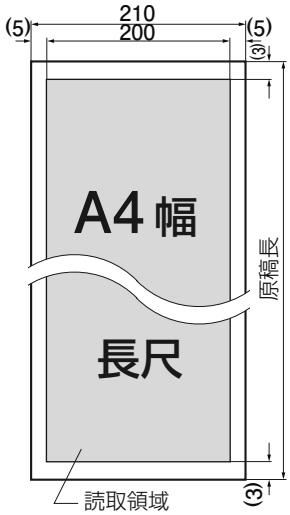


7

8 読み取り / プリント領域

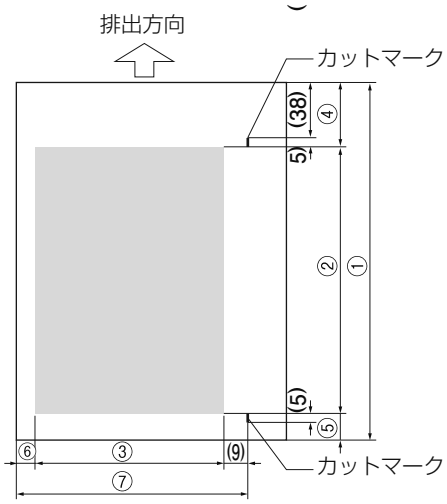
読み取り可能領域（原稿は A4 サイズ）





プリント可能領域

記録紙のサイズより小さいサイズの拡大サイズを選択した場合、自動的にカットマークを印字します。
ただし、本体の条件設定でページ間ギャップ「なし」を選択した時、または、一部の拡大サイズでは印字しない場合があります。



記録用紙のサイズ	拡大サイズ	①紙の長さ	②プリント長	③プリント幅	④先端余白	⑤後端余白	⑥左端余白	⑦カットマーク位置
915	B2	775	723	497	43	9	9	515
	A1	890	838	576	43	9	9	594
	B1	1085	1033	710	43	9	9	728
	A0	1250	1198	823	43	9	9	841
	915	1357	1305	897	43	9	9	–
B1	A2	637	585	402	43	9	9	420
	B2	775	723	497	43	9	9	515
	A1	890	838	576	43	9	9	594
	B1	1085	1033	710	43	9	9	–
	B0（左）	1550	1498	523	43	9	9	524
	B0（右）	1550	1498	523	43	9	9	204
A1	A2	637	585	402	43	9	9	420
	B2	775	723	497	43	9	9	515
	A1	890	838	576	43	9	9	–
	A0×2（左）	1703	1651	576	43	9	9	576.5
	A0×2（右）	1703	1651	576	43	9	9	17.5
A2	B3	555	503	346	43	9	9	364
	A2	637	585	402	43	9	9	–

※表値は標準的な寸法です。記録紙の種類・モード・環境などにより若干変動します。 （単位：mm）
※プリント領域ならびに余白は、あくまでも理論値上の目安であり保証値ではありません。

9 こんなときには

こんなメッセージが表示されたら

エラーメッセージの内容と対応

メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されたら、内容に従い処置をしてください。
処置を行なっても正常に動作しない場合は、メッセージを控えて販売店にご連絡ください。

エラーメッセージ	内　容	処　置
プリンターカバー が開いています	プリンターカバーが開いているときに表示します。	プリンターカバーの両端を持って、しっかりと閉めてください。
記録紙なし	記録紙がセットされていない、または記録紙を使いきってしまったときに表示します。	記録紙をセットしてください。 → P19,「記録紙をセット (915 サイズの場合)」を参照。
記録紙紙づまり	記録紙のセットが悪いときに表示します。	記録紙のセットをやり直してください。 → P19,「記録紙をセット (915 サイズの場合)」を参照。
記録紙を検出できません 決定ボタン→ 手動設定	専用記録紙を使用したが、左右逆にセットしたときに表示します。	記録紙のセットをやり直してください。
	専用記録紙以外の記録紙がセットされたときに表示します。	手動により、記録紙の設定をおこなってください。 → P22,「「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定」参照。
記録紙幅が違います。 記録紙を交換してください	紙切れ等により記録紙を交換した後に、以前（印刷開始時）の記録紙と異なる幅の記録紙がセットされたときに表示します。	印刷開始時と同じ幅の記録紙をセットしてください。
認識エラー　2 記録紙確認	記録紙のタグ情報を読み出せなかった場合に表示します。	専用記録紙に交換してください。
認識エラー　3 記録紙確認 認識エラー　8 記録紙確認	専用記録紙をセットしたが正しく認識されなかった場合に表示します。	プリンターカバーを開き、記録紙のセットをやり直すか、新しい記録紙に交換してください。

エラーメッセージ	内　容	処　置
カッターエラー　1	カッターが定位置にない場合やカット動作不良の場合に表示します。	プリンターカバーを開け、カッターを右端に突き当たるまで移動してください。
カッター位置異常です。 カッターを右にもどす		
ｻｰﾏﾙﾍｯﾄﾞ温度低下 待ちにつき しばらく お待ちください	反転印字や長尺プリント時に、サーマルヘッドの温度が高くなったときに表示します。	サーマルヘッドの温度が下がると自動的に印字を開始します。お待ちください。 さらに温度が高くなっていた場合には、温度が下がると「印刷 / 中止」の選択画面になります。「印刷」選択で中止したページの先頭から印字を開始します。
サーマルヘッド 温度オーバー	反転印字や長尺プリント時に、サーマルヘッドの温度が高温になり過ぎたときに表示します。	電源スイッチを切って、3 分以上経ってから、再度、電源スイッチを入れてください。再度エラーの場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
メモリーオーバー ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る	原稿メモリープリントで原稿枚数が多すぎたときや長尺原稿が長すぎたときに表示します。	［クリア］ボタンを押して初期画面に戻します。読み取り中の原稿データは捨てられますが、既に読み取っていた原稿データはメモリーされているため、プリントできます。
読み取り範囲 データエラー ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝ→ﾘｾｯﾄ	拡大シートに描かれた枠線が仕様外の場合に表示します。	拡大シートに描いた線の太さ、濃さ、線が閉じているか、拡大領域等を修正してください。
タイムアウト ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝ→ﾘｾｯﾄ	拡大シートの読み取り領域を検出しないときに表示します。	拡大シートの線が薄いなどが原因していますので、拡大シートを確認し、再度、読み取りをしてください。拡大シートの作り方は、P34 を参照してください。
設定した値は無効です。	ネットワーク設定時、IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、またはサブネットマスクの値が異常なときに表示します。	正しい値を設定してください。
EEPROMサムエラー EEPROM リード／ ライト エラー	機械が異常の場合に表示します。	電源スイッチを切って、再度、電源スイッチを入れてください。 それでも正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。 なお、ご連絡の際には、表示されたエラーメッセージを併せてお知らせください。
分割ﾌﾟﾘﾝﾄは枚数 設定できません ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る	分割プリント時に［コピー枚数］ボタンを押して、プリント枚数を設定したときに表示します。	分割プリントではマルチプリントはできません。

エラーメッセージ	内　容	処　置
分割ﾌﾟﾘﾝﾄはﾒﾓﾘｰ ﾌﾟﾘﾝﾄできません ｸﾘｱﾎﾞﾀﾝ→戻る	分割プリント時に［メモリー］ボタンを押して、原稿メモリープリントを行おうとしたときに表示します。	分割プリントでは原稿メモリープリントはできません。

■ システムエラー

システムエラーが発生すると、以下のようなエラーメッセージが表示されます。
これらのメッセージが表示された場合は、内容に従い処置してください。

エラーメッセージ	内　容	処　置
システムエラー ０１ （画面表示その他： システムエラー 05 ～ 07）	本機の動作に異常があります。	電源スイッチを切って、再度、電源スイッチを入れてください。 それでも正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。 なお、ご連絡の際には、表示されたエラーメッセージを併せてお知らせください。
システムエラー ３０ （画面表示その他： システムエラー 31 ～ 34）	パソコンとの USB 接続で問題が発生しています。	1. パソコンと本機を接続する USB ケーブルが正しく差し込まれているか確認します。 2. ST-1 本体の電源 OFF/ON とパソコンを再起動してください。 上記処置を行っても正常に動作しない場合は、さらに次の処置を行ってください。 3. プリンタドライバソフトを再インストールします（「プリンタドライバ取扱説明書」参照）。 この処置を行っても正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。 なお、ご連絡の際には、表示されたエラーメッセージを併せてお知らせください。
システムエラー ３５ （画面表示その他： システムエラー 36 ～ 39）	パソコンとのネットワーク接続で問題が発生しています。	1. 本機とネットワーク HUB、パソコンとネットワーク HUB を接続しているケーブルが正しく差し込まれているか確認します。 2. 本書 P59「ネットワークの設定」に従い、ネットワーク設定を行います。 3. ST-1 本体の電源 OFF/ON とパソコンを再起動してください。 上記処置を行っても正常に動作しない場合は、さらに次の処置を行ってください。 4. プリンタドライバソフトを再インストールします（「プリンタドライバ取扱説明書」参照）。 この処置を行っても正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。 なお、ご連絡の際には、表示されたエラーメッセージを併せてお知らせください。

正常に動作しないときには

使用中にトラブルが発生した場合には、内容に従い処置をしてください。
処置を行なっても正常に戻らないときには販売店にご連絡ください。

トラブルの内容および対応

No.	状　態	処　置	参考頁
1	電源スイッチを入れても動かない	• 電源コードが正しく接続されているか確認してください。	P4
2	プリント画像にスポット状またはスジ状のムラが発生する		
	1) 縦スジが発生する場合	• スキャナー部のプラテンガラスを清掃してください。	P78
		• ヘッドクリーニングを実施してください。 • サーマルヘッド間で縦スジが目立つ場合には、条件設定項目および内容の「縦方向のスジの調整」を行なってください。	P75, P78
	2) 周期的にスポット状の白抜けが発生する場合	• 記録紙フィードローラの表面にゴミまたは浮きがないか確認してください。 • 記録紙フィードローラの表面を清掃してください。	P77
3	プリント画像が曲がったり、歪んだりして乱れる	• 原稿が曲がってセットされていないか確認してください。	P18
		• スキャナーカバー、プリンターカバーが浮き上がっていないか確認してください。	P14
		• 記録紙が曲がってセットされていないか確認してください。	P19
		• 原稿フィードローラ、記録紙フィードローラが汚れている場合は清掃してください。	P77, 78
4	プリント画像がとれない（真っ白）	• 記録紙が逆向きでセットされていないか確認してください。 • 原稿面（文字や絵）を下向きにしてセットしていないか確認してください。	P25
5	プリント画像がカスレる	• プリント濃度の設定を「濃く」にするとカスレは少なくなります。 • 原稿自体の画像が薄すぎる場合には、濃い原稿に換えてください。	P54
6	記録紙をセットするとき、フランジガイドに入らなかったり、外れてしまう	• 湿度により記録紙が伸びたり、縮んだりします。記録紙の幅に合わせてフランジガイドユニットの調整つまみで調整するか、新しい記録紙と交換してください。	P21
7	プリント画像がツブレる	• プリント濃度の設定を「薄く」にするとツブレは少なくなります。	P54
		• 原稿自体の画像が濃すぎる場合には、薄い原稿に交換してください。	
8	プリントされた記録紙が出てこない	• 紙づまりになっていないか確認してください。	P26
		• プリンターカバーを開けて、記録紙が記録紙フィードローラに巻き付いていないか確認してください。	P19
		• フランジガイドユニットが正しくセットされているか確認してください。	P21

No.	状　態	処　置	参考頁
9	［スタート／ストップ］ボタンを押してもプリント動作を開始しない	• 原稿を突き当たるまで奥に差し込んでください。	P25
		• 透過性の原稿の場合は動作しません。 普通紙にコピーして使用してください。	
		• メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されているか確認してください。	P72
10	プリント画像の余白部分に汚れが出る	• サーマルヘッドを清掃してください。 • スキャナー部のプラテンガラスを清掃してください。	P77, 78
11	原稿紙づまりが発生する	• スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてください。 • スキャナーカバーが浮き上がっていないか確認してください。	P26
		• 原稿フィードローラを清掃してください。	P78
		• 再度発生する場合、原稿のセットが正常か確認して再セットしてください。	P25
12	プリント動作が遅い	• その他用紙を使用した場合、印字品質を最適化させるため印字速度が遅くなる場合があります。専用記録紙を使用することで、最適な画像かつ高速で印字することができます。	P16
13	印字品質が悪い	• 記録紙種類が「感熱紙」「転写紙」「特殊紙」になっているかを確認してください。 • その他用紙の場合、印字品質が悪くなる場合があります。専用記録紙をご使用ください。	P16
14	プリント動作が途中で止まる （メッセージ表示部に「サーマルヘッド温度低下待ち」と表示されている）	• 黒色部分の多い原稿や反転モードの場合、サーマルヘッドが高温になるとプリント動作は自動的に停止します。 異常ではありませんので、温度が冷めるまで待って、そのままご使用ください。	P29
15	プリントがミラーイメージの状態でプリントされる	• 条件設定モードの「画像向き」を「ノーマル」に変更してください。	P63
16	自動カットしない	• 手動モードになっていないか確認してください。	P56
		• 条件設定項目のページ間ギャップが「なし」になっていないか確認してください。	P63
17	用紙が破れる	• フランジガイドユニットが正しくセットされているか確認してください。 • 水平な場所に置いているか確認してください。 • 専用記録紙を使用しているか確認してください。	P21

10 清掃方法

各部の清掃方法

次のような異常が発生した場合には、以下の手順に従って清掃を行なってください。

	異常動作		清掃箇所
1	記録紙が正常に送られない	➡	記録紙フィードローラ
2	縦方向のスジが発生する	➡	サーマルヘッド
3	プリント画像に縦方向のスジが発生する	➡	プラテンガラス
4	原稿が正常に送られない	➡	原稿フィードローラ

⚠ 注意

清掃する場合は必ず、電源プラグを抜いて行なってください。

- **ベンジン・シンナーなどの有機溶剤やクリーナーは、絶対に使用しないでください。**
- **サーマルヘッドには、無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。**
- **記録紙フィードローラは、プリント画像に影響しますので、傷を付けないように注意してください。**
- **スキャナーカバーの開閉角度は、約 60 度までです。それ以上は、無理に開けないように注意してください。**

プリンター部

プリンターカバーを開けて、以下の清掃を行います。

⚠ 注意

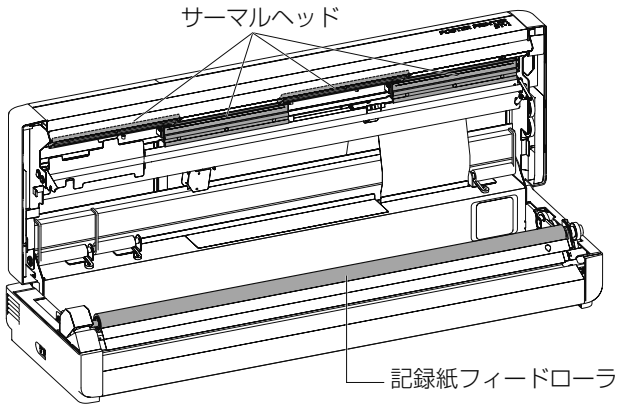
- **プリンター部の清掃時には必ず電源を切ってください。**
- **プリンターカバーを開けて、機器内部にアクセスする際は、カバーの金具に注意してください。手を挟み、けがの原因になることがあります。**

記録紙フィードローラ

やわらかい布に微量の無水エタノールを含ませて汚れを落とします。

⚠ 注意

記録紙フィードローラに傷を付けないようにご注意ください。



■ サーマルヘッド

サーマルヘッドが冷えてから（電源 OFF 後、2 分以上経過してから）、発熱部をやわらかい布に微量の無水エタノール（薬局で購入できます）を付けて拭いてください。
（発熱部には直接指で触らないでください）
サーマルヘッドは消耗部品です。サーマルヘッドの異物による破損、摩耗を防ぐためにも、定期的なサーマルヘッドの清掃をお勧めします。また、長期間機械を使用しない場合は、記録紙を取り除いて専用シートに包んで保管してください。

⚠ 注意
サーマルヘッドは熱くなっていることがあります。ヘッドクリーニングは、必ず電源を切って、ヘッドが冷えてから実施してください。熱によりやけどの原因になることがあります。

■ スキャナー部

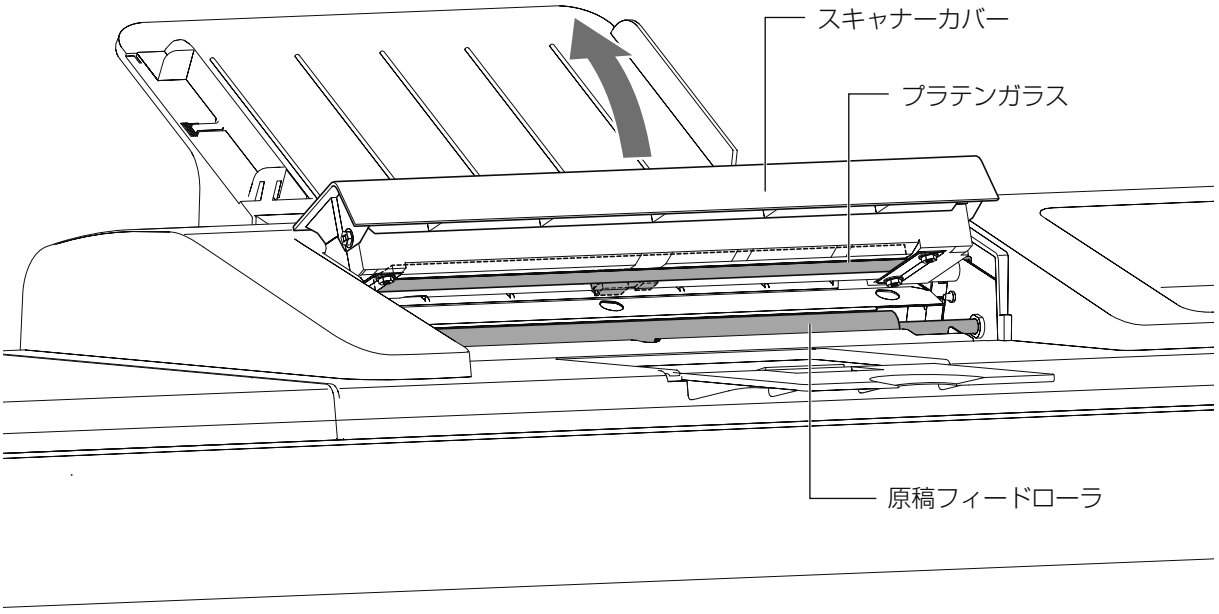
スキャナーカバーの手前側を持ち上げて、以下の清掃を行います。

■ プラテンガラス

やわらかい布で乾拭きします。汚れが落ちない場合は、やわらかい布に微量の無水エタノールを付けて拭いてください。

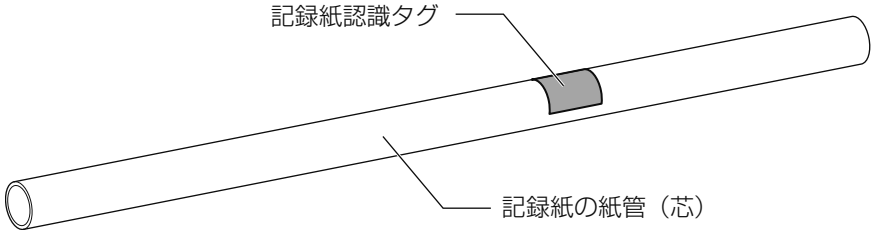
■ 原稿フィードローラ

やわらかい布に微量の無水エタノールを付けて拭いてください。



11 使用済み紙管の廃棄方法

専用記録紙の芯には記録紙認識タグ（IC タグ）が貼り付けられています。
記録紙認識タグには、IC チップと小型のアンテナが埋め込められているため、使い終わった記録紙の芯を廃棄する際には、記録紙の芯と分別する必要があります。
廃棄の際は、記録紙認識タグを芯から剥がして、各自治体のルールに従って廃棄してください。



仕　様

形式	デスクトップタイプ
読取り方式	固定式密着イメージセンサ
読取り解像度	23.6 ドット／ mm（600dpi）
原稿サイズ	A4, 長尺サイズ（2000mm まで）
原稿形式	シート状、厚さ：50 ～ 350 μ m
プリント方式	感熱記録方式
原稿メモリープリント機能	メモリー容量：A4 原稿最大 8 枚／長尺原稿 2000mm 以下
プリントモード	標準、写真、反転 , オンライン
部分拡大機能	原稿サイズ：幅 210mm、長さ 297 ～ 2000mm 拡大指定領域：幅 50 ～ 194mm、長さ 50 ～ 1988mm
プリント解像度	8 ドット／ mm（203dpi）
記録紙サイズ	915mm、B1、A1、A2 幅のロール紙
記録紙の種類	専用記録紙 感熱紙（直接感熱紙、高耐光感熱紙）、転写紙（熱転写紙）、特殊紙（高耐久感熱フィルム）
記録サイズ	B3、A2、B2、A1、B1、A0、915mm、B0、A0 × 2（B0、A0 × 2 は貼り合わせ） 長尺サイズ（印字長さの目安は、原稿サイズに拡大倍率を掛けた長さ）
記録紙給紙方法	ロール紙連続給紙
記録紙カット方式	自動
プリンタドライバ	USB インターフェース…USB2.0 対応 Windows Vista(32/64bit)/Windows7(32/64bit)/Windows8(32/64bit) / Windows8.1(32/64bit) /Windows10(32/64bit)対応 LAN インターフェース…10Base-T/100Base-TX 対応
プリントサイズ(拡大率)およびスピード	

拡大サイズ	拡大倍率	印刷時間 *
A2	約 2.01 倍	約 44 秒
A1	約 2.88 倍	約 59 秒
B1	約 3.55 倍	約 70 秒
915	約 4.48 倍	約 89 秒

* スキャン / カットを除く

ウォームアップタイム	最短約 8 秒（専用記録紙使用時）　※使用条件により異なります。
騒音	約 49dB（A）以下（プリント動作時）
寸法・重量	約 1048(W) × 326(D) × 254(H)mm（原稿トレイを除く） 約 30kg
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	待機時：約 25W、プリント時：約 400W
使用環境	周辺温度：10 ～ 30℃、相対湿度：20 ～ 80% RH
適合規格	VCCI クラス A、RoHS 指令対応
付属品	フランジガイドユニット、フランジ右、フランジ左、原稿トレイ、電源コード、アダプタ、テスト用紙（915mm × 15M 巻直接感熱紙）、セットアップガイド、基本操作説明書、プリンタドライバ CD、保証書の発行方法について、連絡先ラベル
オプション	ST-1 専用スタンド
消耗部品	サーマルヘッド、カッター刃

※記録紙サイズは呼称であり、JIS 規格寸法とは若干異なります。
本諸元は改良のため、予告なく変更することがあります。
消耗部品とは、保証期間内に故障が起きた場合に、有償となる部品のことをいいます。

索　引

あ

アース線 4, 6
アース端子 4
IP アドレス 59, 61
アダプタ 4
安全上のご注意 5
印字パワーの設定 63
インターロックスイッチ 14
インターロックスイッチ 14
USB コネクタ 3, 11
植込み型医療機器 5
AC インレット 13
オールリセット 66
お使いになる前に 1

か

開梱 1
開閉レバー 13
各種サイズのプリント 31
拡大サイズについて 17
拡大サイズの設定 53
拡大シートの読み取り不良がでた場合 32
拡大シートの作り方 34
拡大プリント例 36
各部の名称 13
各部の清掃方法 77
画質自動調整 10
画像の向き 63
カッター 8, 11, 20, 56
カットボタン 15
カットマーク 38, 39, 41, 63, 71
仮止めテープ 39
感熱紙（直接感熱紙、高耐光感熱紙） 11, 16
機能設定項目の選択方法 51
機能設定モード 51
基本的な使い方 24
記録紙有無検出センサー 14
記録紙送りモータ 14
記録紙カットについて 16
記録紙カットの設定 56
記録紙残量長さの単位について 17
記録紙種類自動認識 10
記録紙セット位置（セットマーク） 8, 19
記録紙について 67
記録紙認識センサー 14, 5, 10
記録紙認識タグ（ＩＣタグ） 79
記録紙の種類と設定 16
記録紙の種類 / サイズ一覧 67
記録紙の取扱上のご注意 68
記録紙フィードローラ 14, 77
記録紙より小さくプリント 40
「記録紙を検出できません」が表示された場合の設定 22
記録紙をセット (915 サイズの場合) 19
クリアボタン 15
決定／フィードボタン 15
原稿ガイド 13

か

原稿ガイド（可動） 18
原稿ガイド（固定） 18
原稿ガイドの調整 18
原稿紙づまりが発生した場合 26
原稿トレイの取り付け 4
原稿トレイ 13
原稿排出トレイ 13
原稿排紙トレイ 18
原稿メモリープリント 47
原稿メモリープリント機能での取り扱い注意 50
原稿フィードローラ 14, 78
高耐久感熱フィルム 67
高耐光感熱紙 67
刻印文字（記録紙サイズ） 21
こんなときには 72
こんなメッセージが表示されたら 72

さ

サーマルヘッド 14, 77, 78
3P コンセント 4
残量表示 10
自動カット 16, 56, 57
自動カット（ページ間ギャップ） 63
写真モードプリント 27
手動カット 16, 56, 57
仕様 80
条件設定方法 64
条件設定モード 63
使用済み紙管の廃棄方法 79
スキャナー部 13
スキャナーカバー 14
スキャナー部（各部の名称） 14
スキャナー部（清掃方法） 78
スタート／ストップボタン 15
［スタート／ストップ］ボタンを押しても原稿が送られなかった場合 26
正常に動作しないときには 75
清掃方法 77
設置 2
設置スペース 3
前面（各部の名称） 13
専用記録紙 16
操作パネル 13
操作パネル 13, 15

た

正しくお使いいただくためのお願い 8
縦方向のスジの調整 63
長尺原稿からのプリント 42
直接感熱紙 67
DHCP 環境 60, 62
DHCP サーバ 59, 61
テープ止め 39
テストプリント 65
電源コードの接続 . 4
電源スイッチ 4, 13

た

電源部 13
転写紙（熱転写紙） 11, 16
転写紙のインクフィルムのはがし方 69
特殊紙（高耐久感熱フィルム） 11, 16

な

長さ表示の設定 58
2P コンセント 4
熱転写紙 67
ネットワークの自動設定 59
ネットワークの手動設定 61
ネットワークの設定 59
ネットワークプリンタ 3, 59

は

背面（各部の名称） 13
パソコンの接続 3
反転モードプリント 29
標準モードプリント 24
付属品の確認 1
部分拡大プリント 31
部分拡大機能の設定 55
プラテンガラス 14, 78
フランジ 19
フランジガイドの調整 21
フランジガイドユニット 19
プリンターカバー 13
プリンター部（各部の名称） 14
プリンター部（清掃方法） 77
プリンタドライバ 3, 11, 59
プリント可能領域 71
プリント長表示 30
プリント出口 13
プリント濃度について 17
プリント濃度の設定 54
プリント枚数ボタン 15
プリント枚数設定について 16
プリントモードについて 16
プリントを行なう前に 18
分割プリント 37
分割プリントの貼り合わせ参考例 39
ページ間ギャップ 63
保護シート 15
本機の特長 10

ま

MAC アドレス 60, 62
マルチプリント 44
マルチプリント機能での取り扱い注意 46
メッセージ表示部 15, 16
メニューボタン 15
「メモリーオーバー」エラー 46
メモリープリントボタン 15
メモリープリント 47
モードボタン 15

や

用紙の手動カットと自動カット 57
読み取り / プリント領域 70
読み取り可能領域 70

ら

LAN コネクタ 3, 11

●消耗品ならびに修理等のご用命は、お買い求め頂いたご販売店様へお問い合わせください。

エム·ビー·エス株式会社

●本製品についてのお問合せは最寄の拠点へご連絡ください

東 京 本 社	／〒104-0033 東京都中央区新川1-24-1（ユニゾ新川永代通りビル）	TEL 03（5244）9332
大 阪 支 店	／〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-4-22（肥後橋プラザビル）	TEL 06（4306）3940
名古屋営業所	／〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-3-26（昭和ビル）	TEL 052（228）0168
福 岡 営 業 所	／〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-5-13（KDC福岡ビル）	TEL 092（260）3438
仙 台 営 業 所	／〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-11-2（SK仙台ビル）	TEL 022（796）2102

■ MBSホームページ：http://mbsnet.co.jp

SP0200・MBS-1709